

平成 21 年度 群馬県立館林美術館年報



Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

・展覧会 p.3

A 展覧会一覧	p.3
B 企画展示記録	p.4
C 特別展示記録	p.29
D コレクション展示記録	p.41
E 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録	p.52
F 観覧者数一覧表	p.53

・教育普及 p.54

A 講演会	p.54
B 作品解説会・ギャラリートーク	p.54
C ワークショップ	p.55
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ	p.56
E 美術講座・たてび木曜レクチャー	p.57
F アーティスト・トーク	p.59
G 学校連携その他	p.59
H 地域に開かれた美術館づくり	p.61
I 刊行物	p.62
J ボランティア	p.63
K 友の会	p.63

・所蔵資料 p.64

A 美術作品	p.64
B 図書資料その他	p.79

・関係者および職員名簿 p.80

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期、会場	内容
「館林でつつじの絵をー世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えてー」	4/18-6/21 展示室2-4	館林のツツジにちなみ、日本美術にはどのようにツツジが描かれてきたのか、絢爛豪華な屏風から都市の風景版画まで、絵画を中心にその歴史を辿る。
「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」	7/4-9/23 展示室1-4	地球と人間の関わりを思考し、未来の地球像を比類なき想像力によって形にするアーティストたちの様々な作品とインスタレーションを通して、館林から世界の自然へ、過去から未来の地球の姿へー近くから遠くへーと、自然とエコロジーを考え
「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百艸居ー南画学習から写実を経て魚類画の名手にー」	10/10-11/23 展示室2-4	館林に生まれた岸浪百艸居(1889-1953)は、南画家の父・岸浪柳溪(1855-1935)や小室翠雲(1874-1945)に学び、日本南画院の同人として活動する。晩年は魚類を巧みに描き、昭和天皇に画卷を献上するなどした。11年ぶりの回顧展。

(2)特別展示

展示名	会期、会場	内容
「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛ー自然をとらえる独自のまなざしー」	12/12-4/4 展示室2-4	近代日本画の歴史に異才を放つ群馬県ゆかりの三人の孤高の画家に焦点をあて、その画業と作品とを会期を三つに分けて順次紹介する。

(3)コレクション展示

展示名	会期、会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ	4/18-6/21 展示室1	フランソワ・ボンボン、ヘンリー・ムーアなど、近現代の彫刻を展示。
油彩・南桂子・永井一正	4/18-6/21 展示室2	小杉放庵、小糸源太郎など近現代の油彩を7点の他、南桂子と永井一正の所蔵作品を展示。
油彩・藤牧義夫の版画	7/4-9/23 展示室4	藤牧義夫の木版画を中心に、ラウル・デュフィ、清宮質文などの木版画、山口薫、金山平三の油彩を展示。
近現代の彫刻Ⅱ	10/10-4/4 展示室1	フランソワ・ボンボン、チャーナ・オルロフなど、近現代の彫刻を展示。
油彩・現代美術	10/10-11/23 展示室4	猪熊弦一郎、鶴岡政男などの油彩、アンディー・ウォーホルの《花》、《危機に瀕した種》を展示。
油彩その他	12/12-4/4 展示室4	小糸源太郎、伊庭靖子などの油彩、フランソワ・ボンボンやフランソワ・ラフランカなどの素描や版画、新収蔵作品・資料を展示。

1. 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―

会期 平成 21 年 4 月 18 日(土)―6 月 21 日(日)
 前期 4 月 18 日(土)―5 月 24 日(日)
 後期 5 月 26 日(火)―6 月 21 日(日)
 会場 展示室 2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 観覧料 一般 800(640)円 大高生 400(320)円
 ()内は、20 名以上の団体割引料金

当館の位置する館林市では、江戸時代以来、館林城(現在の市役所周辺)の東にある城沼(じょうぬま)南面の丘が、ツツジの花の名所「つつじが岡」として知られている。これらのツツジは、歴代の館林藩主の保護育成を受けた 400 年以上の樹齢に達する古木を中心に、さらにツツジの多様な園芸品種も植樹されて華麗さを増してきた。江戸・明治・大正・昭和・平成と続く近世・近代・現代の館林の歴史は、まさにこのツツジとともにあったと言える。

本展覧会は、このツツジの名所として知られてきた館林にちなみ、ツツジの花が華麗に咲き誇るこの季「描かれたツツジ」に多面的に迫ろうとするものである。

第1章で近世、近代の花鳥図、そして近代洋画の風景表現や近代都市の風景版画まで、地域にゆかりの植物であるツツジの花を描いた作品を中心に据え、日本美術にはどのようにツツジが描かれてきたのかに迫った。第2章では『錦繡枕』や『本草綱目』など、江戸時代を中心とする園芸ツツジの歴史的資料を、そして第3章では館林市つつじ研究所の資料を中心に、つつじが岡公園の歴史の紹介を試みた。花鳥図のなかで主役の松や桜の巨樹の根元に描かれた山ツツジなどの名脇役ばかりから、近代都市や庭園の描写を彩る華やかな園芸品種の刈り込みの造形性まで、様々なツツジの図像を通して、身近な自然のとらえかたの歴史的変遷に迫った。



ポスター



図録

出品目録

第1章 ツツジを描いた作品の系譜

No.	作品名	作家名	制作年	技法材質等／作品形状	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示期間 前後全 期期期
1	俵藤太物語絵巻	作者未詳	江戸時代前期	紙本着色／卷子(5巻組)	第5巻 33.9×987.4	群馬県立歴史博物館	●
2	誰々袖図屏風	作者未詳	江戸時代前期	紙本金地着色／ 屏風六曲一隻	各162.6× 361.2	個人	●
3	紅葉桜図屏風	作者未詳	江戸時代後期	紙本金地着色／ 屏風六曲一双	各160.5× 356.7	川崎市市民ミュージアム	●
4	溪澗野雉図 (山形県指定文化財)	渡辺崋山	1837(天保8)	絹本着色／軸	142.0×86.0	財団法人山形美術館・ 長谷川コレクション	●
5	足利遊記	椿椿山	1842(天保13)	紙本着色／画帳	20.5×13.3	財団法人山形美術館・ 長谷川コレクション	●
6	《富士三十六景》より 〈下総小金原〉	歌川広重	1858(安政5)	多色刷り木版・紙	34.8×22.2	那珂川町馬頭広重美術館	●
7	《瓢軍談五十四場》より 〈四十三 賤ヶ嶽七本鎗之内 佐藤富久知間高名〉	歌川芳艶	1864(元治元)	多色刷り木版・紙	35.9×25.2	町田市立国際版画美術館	●
8	写生帖より キリシマ (群馬県指定重要文化財)	島霞谷	1860年代	紙本着色／画帳	32.0×27.0	群馬県立歴史博物館寄託	●
9	春秋花鳥図	森寛斎	1888(明治21)	紙本金地着色／ 屏風六曲一双	各 166.5×372.0	滋賀県立近代美術館	●
10	ツツジ	神中糸子	制作年未詳	油彩・板	33.1×23.4	兵庫県立美術館	●
11	躑躅花	長原孝太郎	制作年未詳	油彩・カンヴァス	33.4×45.5	東京藝術大学	●
12	春野	菱田春草	1901(明治34)	絹本着色／軸	116.1×41.2	京都国立近代美術館	●
13	《高山植物写生図》より 〈ウラジロヨウラク(アズマツリ ガネツツジ)〉	五百城文哉	1901-1905 (明治34-38)頃	水彩・紙	33.0×24.5	水戸市立博物館寄託	●
14	《高山植物写生図》より 〈キバナシャクナゲ〉	五百城文哉	1901-1905 (明治34-38)頃	水彩・紙	33.0×24.5	水戸市立博物館寄託	●
15	聖護院の庭	浅井忠	1903(明治36)	水彩・紙	34.4×24.7	京都市美術館	●
16	花と猫	黒田清輝	1906(明治39)	油彩・カンヴァス	59.3×44.1	愛知県美術館	●
17	ロデンドロン	太田喜二郎	1911(明治44)	油彩・カンヴァス	65×90	元京都市立小川小学校蔵 (京都市学校歴史博物館 管理)	●
18	和歌山城 不明門付近	田中恭吉	1914(大正3)頃	ペン、黒インク、水彩・紙	28.3×24.6	和歌山県立近代美術館	●
19	つつじ	黒田清輝	1921(大正10)	油彩・板	26.7×35.4	東京国立博物館 (黒田記念館)	●
20	山つつじ	黒田清輝	1921(大正10)	油彩・板	28.0×38.5	東京国立博物館 (黒田記念館)	●
21	萌出づる春	川崎小虎	1925(大正14)	絹本着色／屏風六曲一 双	各 177.0×364.0	東京国立近代美術館	●
22	立華	木村斯光	1925(大正14)	絹本着色／屏風四曲一 双	170.5×258.0	京都市美術館	●
23	池畔	野長瀬晩花	1925(大正14)頃	絹本着色／軸	141.8×27.2	熊野古道なかへち美術館	●
24	縮緬流水に躑躅花文様描絵 帯	小倉遊亀	大正一昭和初期	縮緬地・彩色／帯	29.2×399.0	滋賀県立近代美術館	●
25	樹下美人	石井鶴三	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	53.0×40.8	東京藝術大学	●
26	公園の初夏	山本丘人	1928(昭和3)	紙本着色／ 屏風二曲一隻、額	169.0×175.0	山本丘人記念館	※6/9- 6/21
27	昭和大東京百図絵版画完制 判 第5景 若葉と日比谷公 園のつつじ	小泉癸巳男	1930(昭和5)	多色刷り木版・紙	27.9×37.3	大田区立郷土博物館	●
28	さつき	辻永	1930(昭和5)	墨、油彩・紙	約28×20	水戸市立博物館	●
29	《花の調》より 〈つつじ〉	村上貞雄	1931(昭和6)	多色刷り木版、手彩色・紙	28.5×38.7	群馬県立館林美術館	●
30	躑躅の頃	福田平八郎	1931(昭和6)頃	絹本着色／軸	35.0×42.2	京都国立近代美術館	●
31	亀戸の藤	川瀬巴水	1932(昭和7)	多色刷り木版・紙	28.9×19.6	大田区立郷土資料館	●
32	元箱根見南山荘風景 ベランダより見るつつじ庭	川瀬巴水	1935(昭和10)	多色刷り木版・紙	33.1×21.4	個人	●
33	元箱根見南山荘風景 つつじ庭より富士を見る	川瀬巴水	1935(昭和10)	多色刷り木版・紙	33.3×21.2	個人	●
34	元箱根見南山荘風景 つつじ庭に遊ぶ二美人	川瀬巴水	1935(昭和10)	多色刷り木版・紙	33.2×21.1	個人	●
35	元箱根見南山荘風景 つつじ庭に遊ぶ二美人	川瀬巴水	1935(昭和10)	多色刷り木版・紙／ 絵はがき	14.3×9.0	個人	●

No.	作品名	作家名	制作年	技法材質等／作品形状	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示期間 前後全 期期期
36	昭和東京風景百図繪版画 第63景 四谷見附(つち咲く五月)	小泉癸巳男	1935(昭和10)	多色刷り木版・紙	28.1×37.4	大田区立郷土博物館	●
37	無題／つはじの花	高橋松亭	1924-1935(大正13-昭和10)	多色刷り木版・紙	11.7×17.8	個人	●
38	つつじ	福田元子	1936(昭和11)	水彩・紙	67.5×136.2	群馬県立近代美術館	●
39	つつじ	福田元子	1936(昭和11)	水彩・紙	67.3×135.5	群馬県立近代美術館	●
40	作品	桂ゆき	1936(昭和11)	油彩・カンヴァス	49.5×60.0	板橋区立美術館	●
41	新東京百景日比谷公園の春	川瀬巴水	1936(昭和11)	多色刷り木版・紙	31.9×22.4	大田区立郷土博物館	●
42	躑躅	五代清水六兵衛作陶・富田溪仙 絵付け	昭和初期	陶器／鉢	径21.5	財団法人横山大観記念館	●
43	頼朝手向の躑躅	猪飼嘯谷	1938(昭和13)	紙本着色／額	176.0×119.0	京都市美術館	●
44	五月雨	横山大観	1940年代(昭和15-24)頃	絹本着色／軸	35.6×42.6	個人	●
45	山の花(山つつじ)	猪田青以	1960(昭和35)頃	紙本着色／額	100.0×149.0	京都国立近代美術館	●
46	庭	山口蓬春	1965(昭和40)	紙本着色／額	54.0×73.0	個人	●
47	つつじ	山口蓬春	制作年未詳	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙	34.6×51.0	山口蓬春記念館	●
48	白つつじ	山口蓬春	制作年未詳	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙	34.7×54.8	山口蓬春記念館	●

第2章 ツツジとはー園芸品種の歴史的発展を中心にー

No.	作品名	作家名	制作年	技法材質等／作品形状	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示期間 前後全 期期期
1	花壇綱目	水野元勝著	1681(延宝9)	木版・紙／刊本(3冊組)	22.5×16.2	雑花園文庫	●
2-1	長生花林抄	三代伊藤伊兵衛著	1733(享保18)	木版・紙／刊本	11.0×16.0	雑花園文庫	●
2-2	長生花林抄	三代伊藤伊兵衛著	1849(嘉永2)と推定	木版・紙／刊本(5冊組)	11.0×16.2	神奈川県立フラワーセンター大船植物園	●
2-3	錦繡枕(復刻版)	三代伊藤伊兵衛著、復興版: 青青堂刊行、塚本洋太郎監修	原著:1692(元禄5)、復刻版:1976(昭和51)	刊本(5冊組+解説)	10.7×16.5	館林市つつじ研究所	●
3	新撰瓶花図彙	山中忠左衛門 跋	1698(元禄11)	木版、手彩色・紙／刊本(乾・坤 2冊組)	32.0×22.6	雑花園文庫	●
4	源氏名寄躑躅の花道	三代伊藤伊兵衛編	江戸中期	木版・紙／刊本	34.0×47.0	雑花園文庫	●
5	きりしま古木の図	三代伊藤伊兵衛 発行	江戸中期	木版・紙／刊本	27.7×106.1	雑花園文庫	●
6	躑躅花図巻	作者不詳	江戸中期(元禄一享保頃)	紙本着色／卷子	42.0×530.0	雑花園文庫	●
7	本草図譜 卷二十	岩崎灌園著・画、復興版: 本草図譜刊行会刊行	原著:1828(文政11)、復興版:1916-1920(大正5-9)	多色刷木版／刊本(全95冊)	26×17.5×1.5	雑花園文庫	●
8	泰西本草名疏	伊藤圭介著	1829(文政12)	多色刷木版／刊本(上・下・附3冊組)	25.5×18.5	雑花園文庫	●
9	гент王立農業植物協会年報 Annales de la société royale d'agriculture et de botanique de Gand	シャルル・モラン著	1845-1848	石版、手彩色・紙		個人	
9-1	アザレア・インディカ ‘アルバ・デリカティッシマ’ (上)、 <i>Azalea indica</i> ‘Alba Delicatissima’ アザレア・インディカ ‘アマランティナ’ (下左) <i>Azalea indica</i> ‘Amaranthina’ アザレア・インディカ ‘レディ・ホーテンセ’ (下右) <i>Azalea indica</i> ‘Lady Hortense’		1845		24.8×16.4		●

No.	作品名	作家名	制作年	技法材質等／作品形状	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示期間 前 後 全 期 期 期
9-2	アザレア・レディフォリア ‘バーシカラー’ <i>Azalea ledifolia</i> ‘Versicolor’		1846		25.7×17		●
9-3	アザレア・レディフォリア ‘ア ンブロシイ’ <i>Azalea ledifolia</i> ‘Ambrosii’		1847		24.9×16.6		●
9-4	アザレア・レディフォリア ‘セ トーサ・バルバータ’ <i>Azalea ledifolia</i> ‘Setosa Barbata’		1848		25.7×17.1		●
9-5	アザレア・レディフォリア ‘ラク テオラ・ストリアータ’ <i>Azalea ledifolia</i> ‘Lacteola Striata’		1848		25.8×17.3		●
9-6	アザレア ‘クイーン・ヴィクトリ ア’ <i>Azalea</i> ‘Queen Victoria’		1849		24.6×16.5		●
10	ヨーロッパの温室と庭園の花 Flore des serres et jardins de l’Europe	ルイス・ヴァン・ホーテ、 シャルル・ルメール著		多色刷り石版、手彩色・紙	23.7×15.9	個人	
10-1	アザレア・インディカ・ストリ アータ・フォルモシッシマ <i>Azalea indica</i> ‘Striata formosissima’		1847		23.7×15.9		●
10-2	アザレア・インディカ・エスク イシタ <i>Azalea indica</i> ‘exquisita’		1847		23.8×15.9		●
10-3	アザレア・インディカ・‘アドミ レーション’ (上) <i>Azalea indica</i> ‘Admiration’ アザレア・インディカ・‘クリテ リオン’ (下) <i>Azalea indica</i> ‘Criterion’.		1852-1853		23.8×16		●
10-4	アザレア・インディカ・ヴィッ タータ <i>Azalea indica vittata</i>		1853-1854		24.4×15.8		●
10-5	江戸キシシマの1品種 <i>Azalea amoena</i>		1853-1854		24.5×16.0		●
10-6	アザレア・インディカ・ヴィッ タータ・プンクタータ <i>Azalea indica vittata punctata</i>		1853-1854		24.4×15.9		●
10-7	アザレア・インディカ・クリスピ フローラ <i>Azalea indica crispiflora</i>		1853-1854		24.4×15.8		●
10-8	アザレア ‘エウラリー・ヴァ ン・ガート’ <i>Azalea</i> ‘Eulalie van Geert’		1854-1855		24.0×16.0		●
10-9	アザレア ‘ビューテ・デ・ユ ロッパ’ <i>Azalea</i> ‘Beaute de l’Europe		1856		24.1×15.8		●
10-10	アザレア・インディカ・イヴェリ アーナ・アルボーシンクタ <i>Azalea indica ivoryana albo- cincta</i>		1856		24.0×15.6		●
10-11	アザレア・インディカ ‘アレク サンダー二世’ <i>Azalea indica</i> ‘Alexandre II’		1857		24.1×16.3		●
11	景年花鳥画譜	今尾景年画 西村總左衛門 発行	1891(明治24)	多色刷り木版・紙／刊本	36.8×25.4	雑花園文庫	●
12	美しい日本の生け花 The Floral Art of Japan	ジョサイア・ コンドル	1899(明治32)	刊本	36.5×28.0	神奈川県立フラワー センター大船植物園	●

No.	作品名	作家名	制作年	技法材質等／作品形状	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示期間 前後全 期期期
13	日本の花 Some Japanese Flowers (Kelly and Walsh Limited販売)	小川一真	明治中－後期	コロタイプ・紙／刊本	38.2×30.0	雑花園文庫	●
14	さつき圖	作者未詳	明治頃	水彩・紙／画帳	19.7×12.9	群馬県立館林美術館	●
15	草木花角力	河内屋発行	天保年間 (1830-1844)頃	木版・紙	44×32.0	雑花園文庫	●
16	風俗画報「横浜植木 株式会社之図」	東洋堂刊行	1902(明治35)	雑誌	25.5×35.0	横浜開港資料館	●
17	日本の植物、球根、種のカ タログ Catalogue of Japanese Plants, Bulbs and Seeds (ブルーム・コレクション)	ボーマー商会 刊行 L. Boehmer&Co. 刊行	1903(明治36)	刊本	24.2×18.3	横浜開港資料館	●
18	輸出用カタログ：花木、装 飾樹木、灌木、球根、薬草、蔓 性植物、果樹 Descriptive Catalogue of Flowering, Ornamental Trees, Shrubs, Bulbs, Herbs, Climbers, Fruit Trees	横浜植木株式 会社刊行	1904(明治37)	多色刷り石版・紙／ カタログ	25.5×18.5	横浜植木株式会社	●
19	霧島皐月細工人形	奥村黄花園発 行	1909(明治42)	木版・紙	55×78	雑花園文庫	●
20	霧島皐月細工人形	奥村黄花園発 行	1910(明治43)	木版・紙	55.5×79	雑花園文庫	●
21	愛すべき日本の花々 The Favorite Flowers of Japan (ドン・ブラウン文庫)	メアリー・E. ウンガー 著	1911(明治44) 初版:1901 (明治34)	刊本	24.5×18.3	横浜開港資料館	●
22	皐月図譜	作者未詳 (印 観古)	1917(大正6)	絹本着色／折帖・写本	24.2×21.4× 6.5	雑花園文庫	●
23	神奈川県立農事試験場 「躑躅類調査」(Ⅰ)	神奈川県立農 事試験場	1917(大正6)	帳面	21.0×16.8	神奈川県立フラワーセン ター大船植物園	●
24	神奈川県立農事試験場 「躑躅類調査」(Ⅱ)	神奈川県立農 事試験場	1918(大正7)	帳面	21.0×16.8	神奈川県立フラワーセン ター大船植物園	●
25	園芸植物図譜 第七輯	横浜植木株式 会社刊行	1918(大正7)	多色刷り石版・紙／刊本	43.0×30.0	横浜植木株式会社	●
26	非水百花譜 れんげつつじ	杉浦非水画、 春陽堂刊	1920-1922 (大正9-11)	多色刷り木版・紙／刊本	46.7×31.5	雑花園文庫	●

第3章 館林「つつじが岡」のツツジ

No.	作品名	作家名	制作年	技法材質等／作品形状	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示期間 前後全 期期期
1	城沼四時雑詠	小林一意(雲 岳)画、田山 花袋(汲古) 著、逢坂正男 (浪月)校閲	1886(明治19)	墨画淡彩・紙／和綴じ本	22.0×29.0 (見開き)	田山花袋記念文学館	●
2	群馬県下上野国 邑楽郡館林躑躅ヶ岡 公園之図	薫州周春	1888(明治21)	多色刷り木版・紙	35.0×69.0	館林市つつじ研究所	●
3	邑楽公園躑躅ヶ岡之図	小室翠雲	1895(明治28)	絹本着色／額	50.0×114.0	館林市立資料館	●
4	館林市中絵入案内双六	重枝鶴藏発行	1899(明治32)	木版・紙	71.2×97.0	館林市立資料館	●
5	春日晴野	横尾深林人	1942(昭和17)	絹本着色／額	62.0×72.2	東京国立近代美術館	●
6	紅艶焼人	横尾深林人	1958(昭和33)	紙本着色／額	67.5×79.5	東京国立近代美術館	●

◎印刷物・会場作成物

・図録 A5 (21×17.3cm) 80 頁

内容:

ごあいさつ(館長 木島俊介)

日本絵画に描かれた躑躅(東京大学名誉教授 河野元昭)

第1章 ツツジを描いた作品の系譜

第2章 ツツジとは―園芸品種の歴史的発展を中心に―

第3章 館林「つつじが岡」のツツジ

館林市つつじ研究所の歩み(館林市つつじ研究所長 島野好次)

ツツジの栽培と品種改良の歴史(新潟県立植物園副園長 倉重祐二、島根大学准教授小林伸雄)

ツツジの代表的な園芸品種(倉重祐二、小林伸雄)

作家略歴

出品作品リスト

ツツジと美術のブックガイド(主幹 松下由里、主任学芸員 中田宏明)

章解説・作品解説執筆: 松下由里

企画・構成: 松下由里、中田宏明

編集: 松下由里、伊藤香織(主任学芸員)、中田宏明

発行: 群馬県立館林美術館

デザイン: 矢萩喜徳郎

制作: 株式会社キジウロウ・ヤハギ

・会場配布用作品リスト

・パネル

挨拶パネル2枚

資料パネル 50 枚

章解説パネル 30 枚

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

[新聞等]

・朝日新聞

5.27

「群馬県立館林美術館 館林でつつじの絵を」<沿線美術館情報>

・朝日ぐんま

5.22

「ペア5組 企画展「館林でつつじの絵を」 県立館林美術館」

6.12

「館林でつつじの絵を ～世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて～ 館林美術館 館林のシンボル 多面的に」<美術探訪> *

・太田タイムス

4.18

「つつじの名画を集めた花咲く時期の企画展示 群馬県立館林美術館」*

・ぐんま経済新聞

4.16

「世界のツツジ作品を展示 県立館林美術館」*

・花卉園芸新聞

5.5

「ツツジの名所にツツジの名画が集う 群馬 館林美術館で開催中」*

・上毛新聞

4.18

「館林美術館企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」<ぐんまちゃんの掲示板>

5.4

「江戸期の絵巻、県重文の写生画… つつましいが華やか ツツジの名画一堂に 館林美術館」*

5.15

「花と猫 県立館林美術館」<気になる情報ばれっと 県内美術館博物館>

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

3.28

「企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」準備中! 描かれ方の変遷紹介」<GMAT だより> *

4.6、4.17、4.20、4.24、5.4、5.15、5.22、5.25、5.29、6.8、6.12、6.19

「企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」<出かけてみませんか情報BOX>

4.17、4.20、5.4、5.15、6.8

「学芸員による作品解説会」<出かけてみませんか情報BOX>

4.18

「企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」本日オープン! 欧米への貴重な輸出品」<GMAT だより> *

4.26

「館林美術館で企画展 前後期に分け6月21日まで 園芸の歴史的資料も 描かれたツツジ一堂に」*

5.4

「記念講演会「花と近世絵画」<出かけてみませんか情報BOX>

5.16

「企画展示「館林でつつじの絵を」記念講演会「花と近世絵画」多様な表現生んだ江戸期」<GMAT だより> *

6.20

「企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」あすで終了 古代から親しまれた花」<GMAT だより> *

・東京新聞

5.21

「群馬県立館林美術館 館林でつつじの絵を(後期)さまざまなツツジの図像紹介」

・両毛新聞

4.22

「館林でつつじの絵を 群馬県立館林美術館」<近県美術館、博物館だより>

[定期刊行物]

・足利漫我人

5、6月号

「県立館林美術館情報「館林でつつじの絵を～世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて～」<マガジン・ネットワーク>

・ギャラリー

5、6月号

「群馬県立館林美術館 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」＜美術館展覧会スケジュール＞

・グラフぐんま

4月号

「花と絵画を鑑賞し、春の館林を楽しもう 館林美術館」＜イベントガイド＞

5月号

「館林美術館 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」＜イベントガイド＞

・ぐんま広報

4月号

「館林美術館企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」」＜春の県有施設イベント＞

・ぐんま情報誌 からっ風

5・6月号

「企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」」＜Art Museum 2009 美術館情報＞

・芸術新潮

6月号

「群馬県立館林美術館 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」＜invitation exhibition＞

・月刊書道 情報誌 書道界

6月号

「全国の描かれたつつじが館林に終結 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて― 群馬県立館林美術館」＜ランダム・ハウス＞、「群馬県立館林美術館 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」＜展覧会情報＞

・月刊 raiu

4月号

「企画展示「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」群馬県立館林美術館」＜主な展覧会スケジュール＞

・博物館研究

Vol.44 No.6

「群馬県立館林美術館「館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」」＜イベントカレンダー＞

・美術の窓

4月号

「群馬県立館林 描かれたツツジ(仮)」＜展覧会情報＞

5、6月号

「群馬県立館林 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―展」＜展覧会情報＞

・美連協ニュース

5月号

「群馬県立館林美術館 企画展示「館林でつつじの絵を」」＜加盟館展覧会案内＞

・まいにち

5、6月号

「「館林でつつじの絵を 世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて」＜イベント・インフォメーション＞

5月号

「館林でつつじの絵を 世界一のつつじの名所に 全国から名画を迎えて」＜短信＞

・わくわくたてなん通信

5月号 Vol.73

「群馬県立館林美術館 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて―」

・渡良瀬通信

4、5、6月号

「群馬県立館林美術館 館林でつつじの絵を―世界一のつつじの名所で全国から名画を迎えて―」＜渡良瀬インフォメーション＞

5月号

「館林でつつじの絵を世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて」＜渡良瀬インフォメーション TOPICS＞

・Deli-J

6月号

「館林市 館林でつつじの絵を～世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて～ 県立館林美術館」＜Event Guide＞

◎放送

[ラジオ]

・エフエム太郎

4.28

8:20-8:25 〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

・記念講演会「花と近世絵画」

5.10

講師:河野元昭氏(東京大学名誉教授)



展示室2



展示室3



展示室4

2. エコ&アート ―アートを通して地球環境を考える― 近くから遠くへ

会期 平成21年7月4日(土)～9月23日(日)
 会場 展示室1、2、3、4、中庭、通路
 主催 群馬県立館林美術館
 助成 芸術文化振興基金
 協力 加藤株式会社、THE NORTH FACE、セーレン株式会社、
 三笠産業株式会社、レンゴー株式会社
 観覧料 一般500(400)円 大高生250(200)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

現代社会が直面する大きな課題であるエコロジー。現在、私たちは、日々「エコ」という言葉を耳にし、「環境に配慮していること」が当然のよう求められる社会に生きている。

しかし、歴史を振り返ると、「エコロジー」とは、人間を含む全ての生物をひとつの大きなシステムのなかに位置づける「生態学」を指す言葉として、19世紀後半に誕生したものである。この頃すでに酸性雨など工業化による環境への影響が指摘されていたものの、今日、一般にエコロジーが意味する「環境保全」に対して社会の関心が高まるのは、1960年代になってからのことだ。

美術の分野では、60年代の終わりに、自然のなかへと制作活動の領域を広げる「アースワーク」の動きが欧米を中心に起こった。学生運動や市民運動が盛んになった70年代には、ドイツのアーティスト、ヨーゼフ・ボイスが「緑の党」の創設に関わり、7000本の樫の木を植えるプロジェクトを行うなど、政治、経済を含めた視野から、人間の自由と創造の営みのためのエコロジーを訴えた。80～90年代には、環境問題への世界的な取り組みがはじまり、美術においても、自然のみならず人間を取り巻くあらゆる環境について、21世紀を見据えた様々な思考が重ねられる。

2001年に開館した当館は、この今世紀的な課題につながる「自然と人間との関わり」をテーマとして活動を行ってきた。また例年、夏の国内最高気温を競う館林において、気候変動は身近に迫る問題である。当館を会場とする本展は、アートを通して多角的に地球環境について考えようとする試みとなった。大地を自らの足で歩むアーティスト、地球の時空間の様相をとらえるアーティスト、そして比類なき想像力によって未来の地球像をイメージするアーティストなど、15人のアーティストをとりあげ、地球環境に向き合う上で多様な示唆を与えてくれるその表現を、第1章「館林―群馬…世界を歩く」、第2章「地球の時空間」、第3章「未来の地球へ」という構成により紹介した。

さらに本展は、「近くから遠くへ」と視点を広げることをサブテーマとした。出品作品を通して、館林という場所から世界へ、身近な自然から地球上の遠くの自然あるいは人間という存在へ、そして過去の地球の姿から未来へと、想像力を働かせることが、エコロジーについて考える一つのきっかけとなると考えたからである。



ポスター



図録



展覧会ドキュメント



展覧会ガイド

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦(高さ)×横(幅)×奥行 cm)	所蔵 *記載のないものは 作家蔵
1	篠原誠司/川島健二	多々良を踏む	2008	インクジェットプリント	イメージ:30×30	志賀高原リゾート開発 株式会社
2		谷中の葦・考える葦	2009	インクジェットプリント	イメージ:30×30	
3	川島健二	歩行する葦	2009	テキスト		
4	石川直樹	THE VOID	2009	発色現像方式印画 (8点)	各90×112	
5		狩猟-1	2009	発色現像方式印画	90×112	
6		猪谷記念館	2009	発色現像方式印画	各28.5×32.7	
7	猪谷六合雄資料	靴下、手袋 スキー板、ストック、ビンディング、輪かんじき カメラ、アルバム 『雪に生きる』(創元社、1952年)あとがきのため の自筆原稿 丸池スキー場設計下図 スキーテール落とし台、ジャンプ台の写真 小屋の図面、キャンピングカーの図面、写真等 のこぎり、ヤスリ、のみ他道具類、引き出し				
8	猪谷六合雄	『雪に生きる』(羽田書店)	1943			群馬県立図書館
9		『赤城の四季』(山と溪谷社)	1944			群馬県立図書館
10	リチャード・ミズラック	動物の死体 #254	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	ギャラリー・ショウ・コン テンポラリー・アート
11		動物の死体 #324	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
12		動物の死体 #93	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
13		動物の死体 #279	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
14		動物の死体 #362	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
15		動物の死体 #222	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
16		動物の死体 #167	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
17		動物の死体 #164	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
18		動物の死体 #1	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
19		動物の死体 #18	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
20		動物の死体 #86	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
21		動物の死体 #20	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
22		動物の死体 #454	1988	発色現像方式印画	101.6×127.0	
23		動物の死体 #79	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
24		動物の死体 #327	1987	発色現像方式印画	101.6×127.0	
25	リチャード・ロング	二つのサハラ作品	1988			群馬県立館林美術館
25-1		歩行が出会う場所でーホッガルでの6日間の歩		グラノリトグラフ・紙	60.1×89.9	
25-2		砂漠の円ー拾い上げ、持ち運び、置く／一つの ものから別のものへと／円錐形の小さな噴火口 のふもとの周りで		シルクスクリーン・紙	57.3×57.3	
26	平田五郎	Inside Passage - The Raven Steals the Light 月 を盗んだワタリガラス				
26-1			2005	発色現像方式印画 (13点)	56.2×66.5×5	Courtesy Electronic Arts Intermix (EAD), New York.
26-2			2009	本(発色現像方式印 画、ゼラチン・シル バー・プリント、テキス ト) 3冊組	33.5×44×3.5	
26-3			2009	映像	40分	
26-4			2005	カヤック	38×543×57	
27	ロバート・スミッソン	スパイラル・ジェッティ	1970	映像	30分	
28	ニルス＝ウド	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の 植栽 (制作地 北海沿岸、クックスハーフェンの 干潟)	1982	ゼラチン・シルバー・ プリント	125.0×132.0(7 点)、125.0× 140.0(1点)	群馬県立館林美術館
29	高谷史郎	アイスコア・インスタレーション	2005	映像インスタレーショ ン		
30		Camera Lucida / Snow Crystal	2005	映像インスタレーショ ン		
31		Chrono	2006	映像インスタレーショ ン		

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦(高さ)×横(幅)×奥行 cm)	所蔵 *記載のないものは 作家蔵
32	野村仁	'moon' score:真空からの発生				姫路市立美術館
32-1			1980-84	写真(61点組)	133.0×740.0 (各25×27)	
32-2			1989	譜面	29.7×21	
32-3			1989	CD(弦楽5重奏)	7分16秒	
33	ヨーゼフ・ボイス	芸術=資本	1979	カラー写真、鉄フレーム、茶色の絵具の入った瓶	218.0×127.0	栃木県立美術館
34		「選挙では緑の党(ディー・グリュネン)を」ポスター	1979	シルクスクリーン・紙	88×63	清里現代美術館
35		「自由国際大学 ヨーゼフ・ボイス 7000本の樫の木」ポスター	1982	シルクスクリーン・紙	61×43	清里現代美術館
36		「自然保護」ポスター	1984	オフセット印刷・紙	60×82	清里現代美術館
37		「7000本の樫の木」バッグ	1982	紙、スタンプ	55×45	清里現代美術館
41		Joseph Beuys 7000 querce 「ヨーゼフ・ボイス 7000本の樫の木」カード	1982	オフセット印刷	69.5×31.5	清里現代美術館
38	ヨーゼフ・ボイス関連資料	カッセル、ドクメンタ7記録写真	1982	カラー写真	11点	カスヤの森現代美術館
39		「7000本の樫の木」絵はがき		オフセット印刷		カスヤの森現代美術館
40		「7000本の樫の木」設置場所地図(7000 Eichen Joseph Beuys, Koln, 1987)		書籍付録地図		清里現代美術館
42		A study of Free International University Joseph Beuys 7000 oaks ed. by Johannes Stüttgen, 1982.	1982			カスヤの森現代美術館
43	バックミンスター・フラー関連資料	最初のコンピューターによるダイマクシオン投影法	1980	オフセット印刷	95.5×192.5	シナジェティクス研究所(制作:バックミンスター・フラー研究所)
44		ダイマクシオン・マップ	1981	オフセット印刷	58.5×91.5	シナジェティクス研究所(制作:バックミンスター・フラー研究所)
45		ジオスコープの表・裏	2004	オフセット印刷	36.5×53.5	梶川泰司『宇宙エコロジー』(2004年)巻末付録/シナジェティクス研究所
46		テンセグリティ球	2009	アルミ合金、黒檀、炭素繊維	100×100×100	個人蔵(連続ネットワーク理論・構造デザイン:梶川泰司、モデル制作:嶋あゆ子)
47		2mドーム・テント	2009			THE NORTH FACE 株式会社ゴールドウィン
48	國府理	typical biosphere	2009	鉄、ポリカーボネート板、土、樹木、芝生、送風機、噴霧器ほか	直径500×高さ400	
49	三分一博志	地球のディテール-Inujima Art Project	2009	映像		
50		Air Flow Movie	2009	映像		
51	サウンドバム	世界の音を聴こう!	2002	サウンドインсталレーション		制作・協力:日本科学未来館
52	川崎義博(サウンドバム代表)	Gravity Series-MOON-	2009	フラットスピーカー、アクチュエーター、音		
53		Gravity Series -MIZU-	2009	ガラス、石、アクチュエーター、音		
54	日比野克彦	DNA RIVER	2006	段ボール、紙		
55		POSITION	2009	テント		
56		DNA PLAIN	2009	段ボール、紙		

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5 変形 (25.5×19cm) 40 頁

内容:

謝辞

ごあいさつ(館長 木島俊介)

アートを通して地球環境を考える試みー近くから遠くへ(学芸員 松下和美)

図版

篠原誠司

石川直樹

リチャード・ミズラック

平田五郎

リチャード・ロング

ロバート・スミッソン

ニルス＝ウド

高谷史郎

野村仁

ヨーゼフ・ボイス

バックミンスター・フラー

國府理

三分一博志

サウンドバム

日比野克彦

出品作家略歴

執筆・編集:松下和美 神尾玲子(学芸員)

翻訳:スタンリー・N・アンダソン

デザイン:須山悠里

制作:印象社

印刷:光村印刷

発行:群馬県立館林美術館

・展覧会ドキュメント B5 変形 (25.5×19cm) 14 頁

編集:松下和美

会場写真:木奥恵三

デザイン:須山悠里

制作:印象社

印刷:光村印刷

発行:群馬県立館林美術館

・展覧会ガイド A3 二つ折り 作品解説、世界地図

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に※)

[新聞等]

・朝日新聞

7.9

「多様な地球環境 アートを通して表現 館林美術館」※

7.15、9.16

「群馬県立館林美術館 エコ&アート」<沿線美術館情報>

9.2

「エコ&アート展エコの意味 問い直す作品群」<be アート>(全国版夕刊)※

9.16

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」<ギャラリー・ミュージアム>(群馬マリオン)

・朝日ぐんま

6.19

「日比野さんと「館林の平原」作ろう 館林美術館でワークショップ 29、30 日」※

7.3

「美術館に「館林の大地」出現! 日比野克彦ワークショップ 段ボールに紙片ベタベタ」※

7.24

「ペア 5 組 エコ&アート「近くから遠くへ」県立館林美術館」<プレゼント>

8.14

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ 館林美術館」<美術探訪>※

・おおたタイムス

6.27

「地球環境考える エコ&アート展ー館林美術館でー」※

・ぐんま経済新聞

6.11

「アートから地球環境考える 県立館林美術館 7 月 4 日から エコ&アート展」※

・産経新聞

9.2

「アートで地球環境考える「エコな現代美術」群馬県立館林美術館」※

・上毛新聞

6.9

「29、30 日に館林美術館 アート体験しよう 日比野さんがワークショップ」※

7.4

「きょうから館林美術館で企画展 出品の日比野さんワークショップ 色紙張り“平原”表現 市民ら 110 人と作品制作」※

7.6

「県立館林美術館 企画展 駆ける学芸員 低コストで理想追求「想像力」が大事に」<文化>※

7.12、8.13

「館林美術館企画展示「エコ&アート」<ぐんまちゃんの掲示板>

8.7、9.4、9.18

「県立館林美術館「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」<気になる情報 ぱれっと>

9.19

「館林美術館企画展示「エコ&アート」作品解説会<ぐんまちゃんの掲示板>

9.30

「「エコ」の意味と作品語る 企画展最終日に石川さん 館林美術館」※

・上毛新聞シャトル

6.22、26

「日比野克彦さんワークショップ「DNA PLAIN」<出かけてみませんか情報BOX>

7.3	「「館林の平原」市民が制作 日比野克彦さんワークショップ 段ボールに色紙張り 4 日から企画展 来館者も“参加”」＊	・アートコレクター
7.4	「企画展示「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」開催のお知らせ 示唆に富む 15 人の作品」＜GMAT だより＞＊	10 月号
7.10、7.13、7.20、7.31、8.3、8.10、8.14、8.21、8.24、8.28、9.4、9.7、9.11、9.14、9.18、9.21	「エコ&アート「アートを通して地球環境を考える 近くから遠くへ」」＜出かけてみませんか情報BOX＞	「群馬県立館林美術館 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜全国主要美術館 9 月～2010 年 3 月企画展スケジュール一覧＞
7.10、7.13、7.20、7.31、8.3、8.10、8.14、8.21、8.24、8.28、9.11、9.14、9.18、9.21、	「学会員による作品解説会」＜出かけてみませんか情報BOX＞	・ギャラリー
7.12	「県立館林美術館「エコ&アートーアートを通して地球環境を考える」15 人のアーティスト 写真や映像サウンドで 自然環境 見直そう」＊	6、7、8、9 月号
7.20、7.31、8.21、8.24、8.28、9.4、9.7、9.11、9.14、9.18、9.21	「エコ&アート、アーティスト・トーク」＜出かけてみませんか情報BOX＞	「群馬県立館林美術館 エコ&アートー近くから遠くへー」＜美術館展覧会スケジュール＞
8.8	「「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」ブックガイド 自然と人間 考えよう」＜GMAT だより＞＊	7 月号
8.22	「「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」関連事業のご報告 作品の意味、作家が語る」＜GMAT だより＞＊	「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」
9.19	「「エコ&アート」23 日で終了 最終日に「トーク」 写真作家、石川さん登場」＜GMAT だより＞＊	・グラフぐんま
・東京新聞		7、8 月号
7.1	「大地や緑の原風景をつくろう アーティスト日比野さん館林でワークショップ」	「館林美術館(館林市日向町)企画展示「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜イベントガイド＞
7.2、8.27	「群馬県立館林美術館 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー」＜美術・博物館ガイド＞	・ぐんま広報
・両毛新聞		7 月号
7.13	「「エコ&アート近くから遠くへ」群馬県立館林美術館」＜近県美術館、博物館だより＞＊	「館林美術館企画展示「エコ&アート」＜夏休み県有施設イベント＞
		・ぐんま情報誌 からっ風
		7 月・8 月号、9 月・10 月号
		「群馬県立館林美術館 企画展示「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」」＜Art Museum2009 美術館情報＞
		・群馬よみうり
		Vol.032
		「VOL.11 群馬県立館林美術館 企画展示「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」開催中！」＜県内の公共施設インフォメーション＞＊
		・芸術新潮
		8、9 月号
		「群馬県立館林美術館 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜invitation exhibition＞
		・芸術文化振興基金 平成 21 年度
		No.24
		「Eco&Art 現代美術におけるエコロジー 群馬県立館林美術館」＜地域文化施設公演・展示活動・美術館展示活動＞
		・月刊クーヨン
		9 月号
		「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ エコロジーを考えるきっかけ」＜Petit Journey Art&Stage＞
		・月刊書道 情報誌 書道界
		9 月号
		「群馬県立館林美術館 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜展覧会情報＞
		・小学三年生
		9 月号
		「日比野克彦ワークショップ「DNA PLAIN」に読者記者が参加！！」＜Weekend NAVI おでかけ編 わくわく夏休みだけのスペシャル体験！ワークショップで芸術家気分！！＞＊

・小学四年生

9月号

「日比野克彦ワークショップ「DNA PLAIN」に読者記者が参加！！」＜Weekend NAVI おでかけ編 わくわく夏休みだけのスペシャル体験！ワークショップで芸術家気分！！＞＊

・ソコト

8月号

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜7月のイベントカレンダー＞

9月号

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜ポタニカル・アートガイド＞

・地域創造レター

8月号

「群馬県館林市 群馬県立館林美術館 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜今月の情報＞

・博物館研究

7、8、9月号

「群馬県立館林美術館【「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」】＜イベントカレンダー＞

・美術手帖

8月号

「群馬県立館林美術館 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜今月の美術館・ギャラリーガイド＞

・美術の窓

8月号

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜話題の展覧会＞、「群馬県立館林美術館 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜今月の美術館・ギャラリーガイド＞

8、9、10月号

「群馬県立館林 エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜展覧会情報＞

・美術屋・百兵衛

第10号

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ 群馬県立館林美術館」＜Preview&News＞

・美車協ニュース

8月号

「群馬県立館林美術館 エコ&アート」＜加盟館展覧会案内＞

・まいにち

6、8、9月号

「群馬県立館林美術館(館林市)★エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜イベント・インフォメーション＞

・渡良瀬通信

6、8、9月号

「群馬県立館林美術館 ★エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜渡良瀬インフォメーション＞

・モダンリビング

187号「アートを通して多角的に地球環境を考える」＜NEWS＞

7月号

「館林市 アートを通して地球環境を考える 企画展が館林美術館で」＜TOPICS＞

・article

7月号

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ 群馬県立館林美術館」＜Museum Info＞

・Bi-Weekly びあ

7月16日号

「群馬県立館林美術館 NEW エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」＜アートどれみよ？アートスケジュール＞

「エコ&アートーアートを通して地球環境を考える 群馬県 群馬県立館林美術館」＜ススめる！アート＞

・Deli-J

7、8月号

「エコ&アートー近くから遠くへ 県立館林美術館」＜Event Guide＞

・raifu

7月号

「企画展示「エコ&アート」＜おすすめのエイベント情報＞

◎放送

[テレビ]

・群馬テレビ

7.18

21:00-21:55 〈レッツゴーカースポット〉

[ラジオ]

・エフエム群馬

6.26

18:35-18:40 〈EVENIN'〉

7.14

17:47-17:51 〈ぐんま情報トッピング〉

・エフエム太郎

7.21、8.18、8.25、9.1

8:20-8:25 〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

- ・県内外企業・団体のエコロジー活動の紹介
別紙(データ)
 - ・出品作家によるアーティスト トーク
- 7.4 高谷史郎、國府理
8.2 篠原誠司×川島健二(民俗研究家)
8.30 平田五郎
9.13 サウンドバム
9.23 石川直樹
- ・ワークショップ&トークイベント
- 6.29、30 制作ワークショップ °
7.29 トークイベントとワークショップ
講師: 日比野克彦(東京芸術大学教授、出品作家)



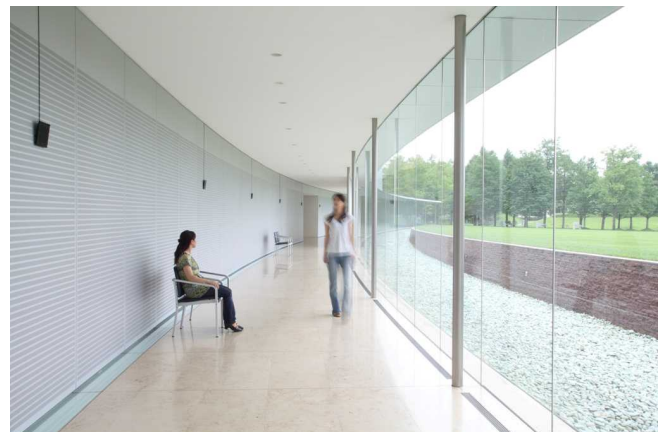
展示室1



展示室4



展示室2



廊下

3. 生誕 120 年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—

会期 平成 21 年 10 月 10 日(土)－11 月 23 日(日)
 前期 10 月 10 日(土)－11 月 1 日(日)
 後期 11 月 3 日(火・祝)－11 月 23 日(日)
 会場 展示室 2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 助成 (財)地域創造
 観覧料 一般 800(640)円 大高生 400(320)円
 ()内は、20 名以上の団体割引料金

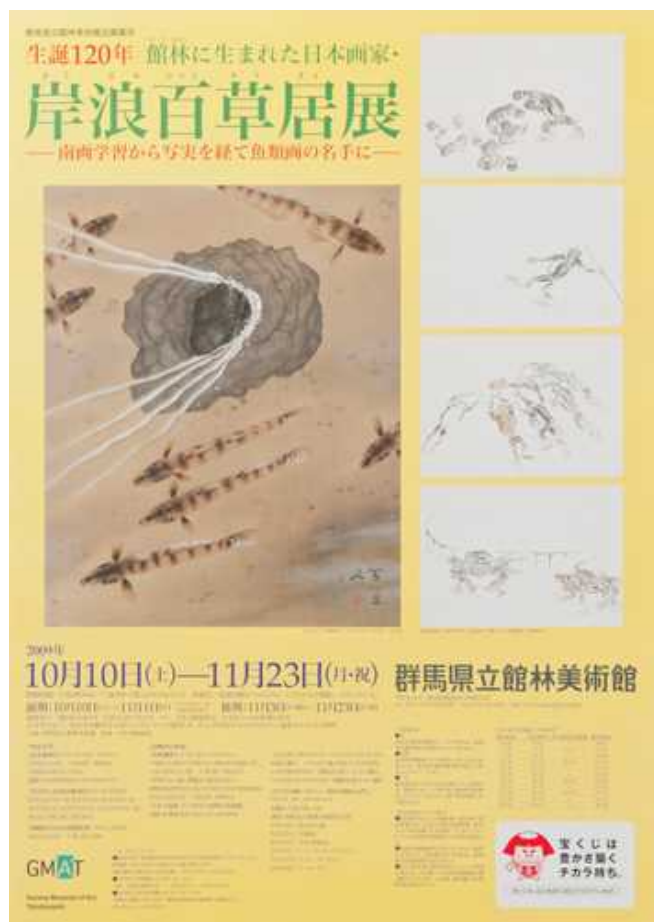
明治 22 年に館林に生まれた日本画家・岸浪百草居(1889-1953)は、南画家であった父・岸浪柳溪(1855-1935)や、同じく館林出身で近代南画のリーダーであった小室翠雲(1874-1945)に学び、大正から昭和の文展、帝展、日本南画院展などで活躍した。本名は定司(さだじ)と言い、比較的長く使用した号に「静山(せいざん)」「百艸居(ひゃくそうきょ)」「百草居(ひゃくそうきょ)」がある。

はじめは中国の文人画に由来する概念である「南画」の画家、南画家として出発したが、中国や欧米を訪れたこともきっかけとなり、自宅の庭の植物などの写生を通じて画風を転換し、徐々に魚類を描く画家として認められるようになった。また、蛙などをモチーフとした愛らしい戯画的な作品にも大変魅力がある。戦中・戦後には、三越百貨店美術部で何度か個展を開いており、第二次世界大戦末期から戦後にかけて、群馬県西部の南蛇井に 1 年ほど疎開したこともあった。

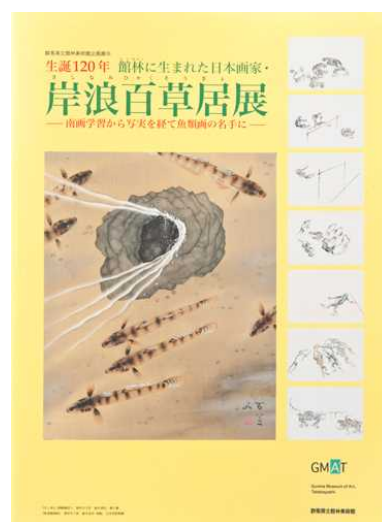
晩年には NHK ラジオの看板クイズ番組「二十の扉」やテレビにもたびたび出演するなど知名度も増し、東京大学教授で魚類の研究者であった檜山義夫との共著で挿絵を提供するなど、さらに活躍が期待されていた。ところが残念なことに病に倒れ、《魚類図鑑 海魚の部》に引き続いて昭和天皇に献上する予定であった《淡水魚の部》については完成させることができず、東京都世田谷区に住んでいた昭和 28 年、聖路加病院でその生涯を閉じた。

百草居に関しては、小杉放菴(1881-1964)との親しい交流が知られているが、ほかにも様々な文化人との交流があり、特に小杉放菴宅で在野の漢学者・公田連太郎を招いて 1927(昭和 2)年に始まった漢籍の勉強会「老荘会」では幹事的な役割を果たしていた。財界人や文士などを集めたこの集まりには出光興産創業者の出光佐三なども出席しており、洋画家・中川一政(1893-1991)との交流も深まっている。また「如水座談会」で東京商科大学(現在の一橋大学)関係者に絵を教えており、1934(昭和 9)年には第 1 回展も開かれた。

生誕 120 年にあたって群馬県立館林美術館で行う今回の展覧会は、館林市立資料館で 1998 年に開かれた「岸浪柳溪・岸浪百草居—その芸術と足跡—」展以来、11 年ぶりの大きな回顧展となり、前回出品されなかった作品も多数出品した。



ポスター



図録

出品目録

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
0-1	うえるかむ	制作年不詳	書・額		個人蔵		○ ○

第1章「父・柳溪と小室翠雲に南画を学ぶ－静山と翠溪－」

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
1-1	翠溪模写(牡丹図、岸浪図 書第121号)	1906(明治39)年	紙本着色・軸	152.5×35.5	個人蔵		○ ○
1-2	静山模写(岸浪図書199	1912(大正元)年	紙本着色・軸	126.8×42.8	個人蔵		○ ○
1-3	静山模写(観音像、岸浪図 書第100号)	制作年不詳	紙本着色・軸	98.4×45.3	個人蔵		○ ○

第2章「南画家・静山として－明治から大正・昭和へ－」

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
2-1	春秋山水図	1911(明治44)年	絹本着色・ 二曲一隻屏風	各140.5×57.0	個人蔵	(各)静山衛人	○ ○
2-2	青緑山水高士観瀑之図	1915(大正4)年	絹本着色・軸	148.3×40.8	個人蔵	静山	○ ○
2-3	青緑山水	1916(大正5)年	紙本着色・軸	141.6×40.8	個人蔵	静山	○
2-4	梅と水仙	1916(大正5)年	紙本着色・軸	135.2×33.4	個人蔵	静山	○
2-5	水墨山水	1918(大正7)年	絹本墨画・軸	137.6×51.0	個人蔵	静山	○
2-6	山水図	1926(大正15)年夏	絹本墨画・軸	144.8×40.9	個人蔵	静山作于百艸居	○
2-7	高士観瀑之図	1926(大正15)年夏	絹本着色・軸	128.2×35.8	個人蔵	静山図于百艸居	○
2-8	観瀑図	1926(大正15)年夏	絹本着色・軸	132.7×40.3	個人蔵	静山	○
2-9	梅花書屋図	1926(大正15)年夏	絹本着色・軸	141.7×40.4	個人蔵	静山作于湘壽山房	○
2-10	牡丹	大正時代	絹本着色・軸	127.0×34.8	群馬県立歴史博物館	静山作於百艸居	○
2-11	碧峰丹楓図	制作年不詳	絹本着色・軸	143.2×42.1	館林市立資料館	静山	○
2-12	水墨山水	制作年不詳	絹本墨画・軸	141.5×46.3	個人蔵	静山	○
2-13	紅卍緑雨	制作年不詳	絹本着色・軸	144.5×41.3	個人蔵	静山	○
2-14	山水図	制作年不詳	絹本淡彩・軸	125.5×41.5	個人蔵	静山	○
2-15	水墨山水	制作年不詳	絹本淡彩・軸	129.0×42.4	個人蔵	静山	○
2-16	初冬山水	制作年不詳	絹本着色・軸	159.3×50.7	個人蔵	静山	○
2-17	桃林山水	制作年不詳	絹本着色・軸	144.0×41.8	個人蔵	静山	○
2-18	梅溪山水図	1929(昭和4)年	絹本着色・軸	164.0×41.3	個人蔵	静山作于百艸居中	○
2-19	芭蕉	1928(昭和3)年春	絹本着色・軸	145.5×90.4	個人蔵	静山作于百艸居／中	○ ○
2-20	山水風竹	1918(大正7)年	絹本着色・軸	141.0×51.4	個人蔵	静山	○
2-21	竹梅図	1928(昭和3)年秋	紙本墨画・軸	157.3×43.1	個人蔵	静山	○
2-22	中国南部秋景	制作年不詳	絹本着色・軸	68.7×95.5	個人蔵	静山作於丈？艸居	○
2-23	鯉之図	制作年不詳	絹本淡彩・軸	124.0×42.7	個人蔵	静山	○
2-24	双鶴図	制作年不詳	絹本着色・軸	121.9×40.3	個人蔵	静山	○
2-25	鯉のぼり	制作年不詳	絹本着色・軸	128.8×43.2	個人蔵	静山	○
2-26	金魚	制作年不詳	絹本着色・軸	127.8×35.2	個人蔵	静山人…作于百艸居	○ ○
2-27	念々大吉	1930(昭和5)年	紙本着色・軸	148.8×32.5	個人蔵	静山作于百艸居	○

第3章「南画からの解放と写実的表現－自庭・百艸居に囲まれて－」

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
3-1	貼り交ぜ屏風	制作年不詳 (2009(平成21)年表	紙本墨画・ 四曲一双屏風	122.5×199.6	個人蔵	百草居	右 左 隻 隻
3-2	百艸居庭上にて	1931(昭和6)年 11月	紙本着色・軸	134.5×70.7	個人蔵		○ ○
3-3	写生(鳥(描き順入り))	1932(昭和7)年 2月21日	紙本着色	78.2×80.0	個人蔵	静	○ ○

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
3-4	七生での写生図	?年 10月9日 1932(昭和7)年 12月16日 1932(昭和7)年 10月9日 (2009(平成21)年表 註)	紙本著色・軸	53.1×78.1 53.3×78.1 54.5×78.1	個人蔵	静	○ ○
3-5	写生(ツバキ)	1933(昭和8)年 5月1日	紙本著色	55.4×80.1	個人蔵		○
3-6	写生(ブドウ)	1934(昭和9)年 9月9日	紙本著色	55.7×78.0	個人蔵	百艸居	○ ○
3-7	写生(カキ、ナス、ミョウガ)	1940(昭和15)年 9月14日	紙本著色	54.3×81.2	個人蔵	百草居	○
3-8	写生(ナナカマド)	1939(昭和14)年 10月15?日 1939(昭和14)年 10月14日	紙本著色	33.0×55.5 37.0×55.5	個人蔵		○
3-9	写生(ナナカマド)	1939(昭和14)年 10月17日	紙本著色	37.5×55.7	個人蔵		○
3-10	写生(ナナカマド)	1939(昭和14)年 10月17日	紙本著色	34.2×55.6 37.7×55.6	個人蔵		○
3-11	写生(カラスウリと落葉)	1939(昭和14)年 10月17日	紙本著色	37.7×56.0	個人蔵		○ ○
3-12	写生(植物)	1939(昭和14)年 10月14日	紙本著色	37.3×55.3	個人蔵		○ ○
3-13	写生(トウガラシとナス)	1939(昭和14)年 10月20日	紙本著色	52.5×41.1	個人蔵		○ ○
3-14	写生(ベニドウダン)	1939(昭和14)年 10月21日	紙本著色	38.0×55.8	個人蔵	百草居	○
3-15	写生(ザクロ)	1939(昭和14)年 10月29日	紙本著色	37.8×56.3	個人蔵		○
3-16	写生(ツバキ)	1939(昭和14)年 11月19日	紙本著色	75.1×56.1	個人蔵	百草居	○ ○
3-17	写生(ツバキ)	1940(昭和15)年 3月18日	紙本著色	42.2×57.1	個人蔵		○
3-18	写生(カノコユリ)	1940(昭和15)年 8月5日	紙本著色	56.8×73.7	個人蔵	於百草居	○
3-19	写生(ユリ)	1940(昭和15)年 8月14日	紙本著色	56.5×76.8	個人蔵	於百草居	○
3-20	写生(グラジオラス)	1940(昭和15)年 9月5日	紙本著色	40.4×54.0	個人蔵	於百草居	○
3-21	写生(野菜)	1940(昭和15)年 9月7日	紙本著色	56.4×77.2	個人蔵	百草／居	○ ○
3-22	写生(キャベツ、ナス、 ピーマン、ショウガ)	1940(昭和15)年 9月8日	紙本著色	56.2×77.5	個人蔵	於百草居	○
3-23	写生(スイカ、ホオズキ)	1940(昭和15)年 9月10日	紙本著色	55.7×77.6	個人蔵	於百草／居	○
3-24	写生(枝豆)	1940(昭和15)年 9月10日	紙本著色	56.8×78.6	個人蔵	於百草／居	○
3-25	写生(キュウリ)	1940(昭和15)年 9月13日	紙本著色	54.7×78.8	個人蔵	於百草／居	○
3-26	写生(綿の花)	1940(昭和15)年 9月13日	紙本著色	38.9×54.8	個人蔵	於百草／居	○
3-27	写生(ワタ)	1940(昭和15)年 9月29日	紙本著色	38.3×57.0	個人蔵		○
3-28	写生(ツバキ)	1940(昭和15)年 (?月)26日	紙本著色	39.2×56.6	個人蔵		○
3-29	「蔬菜果実」写生帖	1937(昭和12)年頃～ 1947(昭和22)年頃	紙本著色など	30.0×41.5	個人蔵		頁を 随時
3-30	西園清人樹	1932(昭和7)年	紙本著色・ 六曲一双屏風	各147.2×315.4	館林市立資料館	右隻:静山作於百艸 居	○ ○
3-31	秋庭	1934(昭和9)年	紙本著色・ 六曲一双屏風	各174.0×363.0	群馬県立近代美術館	右隻:百艸居	○ ○
3-32	露葉霜條	1935(昭和10)年	紙本著色・ 六曲一双屏風	各196.7×345.6	群馬県立近代美術館	右隻:百艸居	○ ○

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え	
							前 期	後 期
3-33	雨呼ぶ鳥晴呼ぶ鳥	1935(昭和10)年	絹本著色・軸	64.8×71.8	群馬県立近代美術館	百草居	○	○
3-34	鳩2羽	1937(昭和12)年秋	紙本淡彩・軸	54.4×63.3	個人蔵	なし	○	
3-35	溪谷(カワガラス)	1938(昭和13)年以降	紙本著色・ 二曲一隻屏風	163.4×168.0	個人蔵	百草／居	○	
3-36	クリンソウ	1938(昭和13)年以降	紙本著色・ 二曲一隻屏風	138.0×152.0	個人蔵	百草／居		○
3-37	山鳩とイチジク	制作年不詳	紙本墨画・軸	46.8×65.5	個人蔵	百艸居	○	
3-38	白鷺と川蟹	制作年不詳	紙本著色・軸	45.2×43.7	個人蔵	百草／居	○	
3-39	雉とふきのとう	制作年不詳	紙本著色・軸	54.3×67.9	個人蔵	百艸居		○
3-40	春窓閑友	制作年不詳	紙本著色・軸	43.0×55.8	個人蔵	百艸居	○	
3-41	波に千鳥	制作年不詳	絹本著色・軸	111.8×40.8	個人蔵	百草	○	
3-42	雁	制作年不詳	紙本著色・軸	146.2×40.1	個人蔵	百艸居		○
3-43	春花図	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	112.5×82.3	個人蔵	百草／居		○
3-44	けいとうに虫	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	45.0×53.5	個人蔵	百艸居	○	○
3-45	静物(リンゴ)	制作年不詳	絹本著色・額	29.6×38.7	個人蔵	百艸／居	○	○
3-46	ゆず	1938(昭和13)年以降	紙本著色・色紙額	45.5×38.0	個人蔵	百草／居	○	○
3-47	オモト	1938(昭和13)年以降	絹本著色	28.9×33.9	個人蔵	百草／居	○	○
3-48	朝顔図	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	35.4×38.5	個人蔵	百草／居	○	○
3-49	柿にめじろ	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	39.7×45.7	個人蔵	百草／居	○	○
3-50	扶桑蓬萊	1944(昭和19)年	絹本著色・軸	176.2×57.3	個人蔵	百草居	○	○
3-51	椿寿	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	44.2×52.0	個人蔵	百草／居		○
3-52	なす	制作年不詳	絹本著色・軸	43.7×50.5	館林市立資料館	百草居	○	
3-53	椿	1938(昭和13)年以降	紙本著色・軸	32.0×32.0	館林市立資料館	百草居		○
3-54	干柿	制作年不詳	紙本著色・軸	33.3×45.0	館林市立資料館	百草老生		○
3-55	花瓶	1938(昭和13)年以	紙本著色・軸	55.8×38.2	個人蔵	百草／居	○	
3-56	採花	1938(昭和13)年以降	絹本著色・軸	37.1×51.2	個人蔵	百草居		○
3-57	水墨山水	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	46.6×65.6	個人蔵	百草／居	○	○
3-58	深山	1948(昭和23)年秋	紙本墨画・軸	55.6×99.2	個人蔵	百草／居	○	○

第4章「カエルの絵と人物画ー肥瘦のある墨線を活かした戯画的表現ー」

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え	
							前 期	後 期
4-1	蛙遊戯画帖	制作年不詳	紙本淡彩・画帖	29.4×41.7	出光美術館	百草／居	表 面	裏 面
4-2	貼り交屏風 アユ3匹 磁器 筆入れ 書 カエル2匹 ザクロ	制作年不詳	紙本著色・ 二曲一隻屏風	127.3×134.4	出光美術館	百草居 百草居 百草居 百草居 百草居 百老人		○
4-3	戯蛙帖	制作年不詳	画帖	29.5×40.9	個人蔵	百草居	頁を 随時	
4-4	《わが青少年》屏風左隻下 絵	1942(昭和17)年?	軸	154.8×169.0	個人蔵		○	○
4-5	《わが青少年》屏風右隻下 絵	1942(昭和17)年?	軸	153.0×168.7	個人蔵		○	○
4-6	机邊隨時冊 1. 山宿のおし照る月に酒 はなし明日ゆくやまの地圖 を見て居り 2. 瘦すやすも生ければ将 (はた)や将鰻(むなぎ)を 漁ると河に流るな 家持	1942(昭和17)年	紙本著色・画帖	27.4×19.0	個人蔵	百草居 百／草／居	頁を 随時	

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
	3. 平久佐別莊子(をぐさ を)と平具佐助丁(をぐさす けを)と潮舟の並べて見れ ば平具佐勝ちめり 萬葉集			27.4×37.8		百草居	
	4. ふる雨に軒借る家の土 間近く蠶(かいこ)の室の人 どもの云ふ			27.4×37.8		百草居	
	5. さまさまのこと思い出す 櫻かな 芭蕉の句に			27.4×37.8		百草居	
	6. 水莖のふりにし筆のあと 見れば古人はよくかきにけ り 竹の里人歌			27.3×38.0		百草／居	
	7. 戸に犬のねかへる音や 冬籠り 蕪村の句に			27.4×38.0		百草居	
	8. 夜はながし談れよきか む埴輪人遠きみ祖(おや) の戀も動も			27.4×38.0		百草居	
	9. 吾妹子に我が戀ひしな ばそわへかもかめに負せ む心知らずて			27.4×37.8		百草居	
	10. 元の使者すでに斬ら れて鎌倉の山の草木もなり ふるひけむ 左千夫歌集			27.4×38.0		百／草／居	
4-7	河童	制作年不詳	紙本墨画・軸	125.8×26.3	個人蔵	百草居	○ ○
4-8	蛙図	1938(昭和13)年以降	紙本著色・二曲一 隻屏風	140.8×147.4	個人蔵	百草／居	○ ○

第5章「魚類画の名手・百草居一写生と本画と挿絵と一」

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
5-1	魚	制作年不詳	紙本著色・軸	135×23	館林市立資料館	静山作于百艸居	○
5-2	貼り交ぜ屏風	制作年不詳 (2009(平成21)年表	紙本墨画・ 四曲一雙屏風	122.5×199.6	個人蔵	百草居	右 左 隻 隻
5-3	南蛇井時代のアユ(印譜)	1945(昭和20)年	紙本淡彩・額	15.7×92.8	個人蔵	百草居	○ ○
5-4	魚類写生帖 (鰻 鮓? 追河 鰻魚 青 鱸 鰻 鯉 口(魚へんに 義)々 雷魚)	1930(昭和5)年頃～ 1948(昭和23)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	館林市立資料館		頁を 随時
5-5	魚類写生帖 (鮎 鱒 山女魚 鮭 岩魚 公魚)	1930(昭和5)年頃～ 1948(昭和23)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	館林市立資料館		頁を 随時
5-6	魚類写生帖 (笠子 目張 沖鱸 石持 沖之尉 金頭 鱸 子勢 はた。あいなめ	1937(昭和12)年頃～ 1947(昭和22)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	館林市立資料館		頁を 随時
5-7	魚類写生帖 (鰯? 平目 アンコウ等)	1930(昭和5)年頃～ 1951(昭和26)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-8	魚類写生帖 (鯉 鮒)	1918・1919(大正7・8) 年頃～ 1947(昭和22)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-9	魚類写生帖 (堂?比)	1937(昭和12)年頃～ 1947(昭和22)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-10	魚類写生帖 (烏賊 蛸 蟹 海水 淡水 漁具 海艸 貝 魚)	1929(昭和4)年頃～ 1949(昭和24)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-11	魚類写生帖 (ひうを(干魚))	1937(昭和12)年頃～ 1951(昭和26)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-12	魚類写生帖 (沙魚 杜父魚)	1938(昭和13)年頃～ 1948(昭和23)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-13	写生帖 (石。蛙。陶磁器)	1930(昭和5)年頃～ 1947(昭和22)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	落款等	展示替え 前 後 期 期
5-14	魚類写生帖 (ふく。べら。あなご。 日本海魚。さめ。鯛)	1934(昭和9)年頃～ 1944(昭和19)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-15	写生帖 (魚にそえる)	1935(昭和10)年頃～ 1946(昭和21)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-16	魚類写生帖 (秋刀魚 飛魚 鰯 細魚 小はだ)	1937(昭和12)年頃～ 1947(昭和22)年頃	紙本著色など	33.5×48.5	個人蔵		頁を 随時
5-17	アジサイとアユ	制作年不詳	紙本著色・ 二曲一隻屏風	153.0×150.4	個人蔵	百草居	○ ○
5-18	鮎図	1937(昭和12)年	紙本淡彩・ 二曲一隻屏風	91.0×91.0	個人蔵	百艸居	○ ○
5-19	水墨 泳いでいるアユ	制作年不詳	絹本著色・額	60.3×32.9	個人蔵	百草／居	○ ○
5-20	メダカ	1938(昭和13)年以降	絹本著色・軸	37.3×25.2	個人蔵	百草／居	○
5-21	金魚	1938(昭和13)年以降	絹本著色・軸	37.5×25.3	個人蔵	百草／居	○
5-22	ぼら	1938(昭和13)年以降	紙本著色・軸	124.7×33.3	個人蔵	百草／居	○
5-23	うなぎ どぜう	1938(昭和13)年以降	紙本著色・軸	104.0×32.2	個人蔵	百草居	○
5-24	タイ、カサゴ、アジ、貝	1938(昭和13)年以降	絹本著色・軸	109.0×35.4	個人蔵	百草／居	○
5-25	サンマ	1938(昭和13)年以降	絹本著色・軸	35.7×51.4	個人蔵	百草／居	○
5-26	小タイ(赤5匹)	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	40.0×50.0	個人蔵	百草／居	○ ○
5-27	トビウオ	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	45.7×35.1	個人蔵	百草／居	○ ○
5-28	八つの貝	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	33.8×50.2	個人蔵	百草／居	○ ○
5-29	なまず	1938(昭和13)年以降	紙本著色・額	37.3×44.8	個人蔵	百草／居	○ ○
5-30	赤カニとトクサ	1938(昭和13)年以降	絹本著色	35.3×46.0	個人蔵	百草／居	○ ○
5-31	タイ(金)	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	26.5×40.2	個人蔵	百草／居	○ ○
5-32	タイ、エビ、サザエ、貝	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	28.7×46.7	個人蔵	百草／居	○ ○
5-33	カレイ	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	36.4×50.4	個人蔵	百草／居	○ ○
5-34	海老	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	40.8×43.7	個人蔵	百草／居	○ ○
5-35	岩と流れ(俯瞰構図)	1938(昭和13)年以降	絹本著色	48.9×38.3	個人蔵	百草／居	○ ○
5-36	魚の串焼き	1938(昭和13)年以降	絹本著色・額	44.5×51.5	個人蔵	百草	○ ○
5-37	トビウオとホウボウ	1938(昭和13)年以降	絹本著色・軸	104.2×41.2	個人蔵	百草／居	○
5-38	ネズミとイワシ	1938(昭和13)年以降	紙本著色・軸	82.6×32.4	個人蔵	百草／居	○
5-39	クルマエビ(3匹)	1938(昭和13)年以降	絹本著色	53.0×37.2	個人蔵	百草／居	○ ○
5-40	鮎	1938(昭和13)年以降	紙本著色・軸	41.2×51.0	群馬県立歴史博物館	百草／居	○
5-41	採魚	1938(昭和13)年以降	紙本著色・軸	31.7×43.0	個人蔵	百草／居	○
5-42	フグ	制作年不詳	紙本墨画・額	35.2×46.5	個人蔵	百草	○ ○
5-43	桜鯛	1947(昭和22)年	紙本著色・軸	43.0×47.8	館林市立資料館	百草居	○
5-44	扇形の器にエビ2匹	制作年不詳	紙本著色・軸	137.7×34.6	個人蔵	百草／居	○
5-45	初冬	1938(昭和13)年以降	紙本著色・軸	137.0×33.0	群馬県立歴史博物館	百草／居	○
5-46	山湖之幸	1944(昭和19)年	紙本著色・軸	40.5×45.7	館林市立資料館	忘筌 百草居	○
5-47	遊魚	制作年不詳	紙本著色・軸	146.2×40.3	個人蔵	忘筌居士	○
5-48	ハゼ	制作年不詳	絹本著色	45×51	個人蔵	なし	○ ○
5-49	ハゼ類5匹	1938(昭和13)年以降	絹本著色	44.8×45.3	個人蔵	百草／居	○ ○
5-50	浅汐	1950(昭和25)年	紙本著色・額	64.5×68.0	個人蔵	なし	○ ○
5-51	海魚貼交図巻	制作年不詳 (2009(平成21)年表 装)	画卷	76.5×55.1 54.2×38.3 27.5×38.5 27.5×38.5 (27.5×198.0)	個人蔵	百草居	○ ○

関連資料

No.	資料名	製作年・刊行年	作者、出版社	所蔵	展示替え 前 後 期 期
	岸浪百草居用印 ①朱文方印「百艸」		銭厓刻	館林市立資料館	○ ○
	岸浪百草居用印 ②朱文円印「百」			館林市立資料館	○ ○

No.	資料名	製作年・刊行年	作者、出版社	所蔵	展示替え 前 後 期 期
	岸浪百草居用印			館林市立資料館	○ ○
	③朱文方印「百艸定司」				
	岸浪百草居用印	1926(大正15)年	錢厓刻	館林市立資料館	○ ○
	④朱文方印「百艸居主」				
	岸浪百草居用印		楠瀬日年刻	館林市立資料館	○ ○
	⑤朱文橢円印「百艸居」				
	岸浪百草居用印		楠瀬日年刻	館林市立資料館	○ ○
	⑥朱文方印「百艸居」				
	岸浪百草居用印	1938(昭和13)年	楠瀬日年刻	館林市立資料館	○ ○
	⑦白文方印「定司」				
	岸浪百草居用印		楠瀬日年刻	館林市立資料館	○ ○
	⑧朱文円印「定司」				
	岸浪百草居用印		楠瀬日年刻	館林市立資料館	○ ○
	⑨白文方印「放生」				
	岸浪百草居用印	1930(昭和5)年	楠瀬日年刻	館林市立資料館	○ ○
	⑩朱文方印「放生」				
	『是からの日本南畫実習帖』	1934(昭和9)年	岸浪百艸居、 総合美術研究所	群馬県立近代美術館	○ ○
	『日本南畫実習帖』	1938(昭和13)年～ 1939(昭和14)年	岸浪百艸居揮毫 指導、アトリエ社	個人蔵	頁を 随時
	《球戯図巻》複製	1939(昭和14)年	編集兼発行： 岸浪定司、 印刷： 大塚工藝社	個人蔵	場面 を随 時
	『魚に會ふ(うおにあう)』	1947(昭和22)年	岸浪百艸居、 右文社	群馬県立近代美術館	頁を 随時
	『畫魚談叢(がぎょだんそ う)』	1948(昭和23)年	岸浪百艸居、 富国出版社	個人蔵	頁を 随時
	『一日本の魚 I 一磯の魚』	1952(昭和27)年	岸浪百草居・ 檜山義夫共著、 創元社	個人蔵	頁を 随時
	『俳詩と畫』第8巻第5号 「岸浪百艸居先生追悼号」	1953(昭和28)年	編集・発行： 渥美守雄	個人蔵	○ ○
	『百草居の歌』	1955(昭和30)年	岸浪豊子・ 小杉放菴 小玉邦雄編	個人蔵	○ ○

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5(25.7×19cm) 80 頁

内容:

謝辞

ごあいさつ(館長 木島俊介)

「岸浪百草居の歩み―近代美術の流れと照らし合わせて―」(学芸員 中田宏明)

文展、帝展、日本南画院展全出品作品

第1章「父・柳溪と小室翠雲に南画を学ぶ―静山と翠溪―」

「中島定司が生まれた館林、岸浪翠溪が学んだ館林」(館林市史編さんセンター 岡屋紀子)

第2章「南画家・静山として―明治から大正・昭和へ―」

第3章「南画からの解放と写実的実現―自庭・百艸居に囲まれて―」

岸浪百草居関連写真紹介

小杉放菴から見た岸浪百草居(小杉放菴記念日光美術館 学芸係長 田中正史)

第4章「カエルの絵と人物画―肥瘦のある墨線を活かした戯画的表現―」

出光美術館所蔵作品について

第5章「魚類画の名手・百草居―写生と本画と挿絵と―」

手帖類

著書から

楽款等

印章

「楠頼日年刻岸浪百草居用印」(篆刻研究家 伊藤明)

「楠頼日年小伝 1888(明治21)～1960(明治35)」(篆刻研究家 野中頼僊)

出品作品リスト

年譜

参考文献抄

カタログ執筆・編集:中田宏明

発行:群馬県立館林美術館

・パネル

解説パネル、写真パネル 30 枚

◎主要関連記事(長文記事は末尾に※)

[新聞等]

・朝日新聞

11.18

「群馬県立館林美術館 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展」<沿線美術館情報>

・朝日ぐんま

11.6

「生誕120年 館林に生まれた日本画家「岸浪百草居展」知られざる側面、丹念に」<美術探訪>

・太田タイムス

10.17

「日本画家・岸浪百草居展 館林美術館で開催中」※

・公明新聞

10.20

「岸浪百草居展」

・上毛新聞

10.10

「館林美術館企画展示「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展―南画学習から写実を経て魚類画の名手に―」作品解説会」<ぐんまちゃんの掲示板>

10.16、11.13

「県立館林美術館(館林市日向町)生誕 120 年「館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展―南画学習から写実を経て魚類画の名手に―」<気になる情報ばれっと 県内美術館博物館>

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

9.28、10.2、10.5、10.9、10.12、10.16、10.19、10.23、10.26、10.30、11.2、11.6、11.13、11.16、11.20、11.23

「企画展示「生誕 120 年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展―南画学習から写実を経て魚類画の名手に―」<出かけてみませんか情報BOX>

10.3

「生誕 120 年 館林に生まれた日本画家 10 日から「岸浪百草居展」魚類画の名手 150 点展示」<GMAT だより>※

10.16、10.19、10.23、10.26、10.30「学芸員による作品解説会「岸浪百草居展」<出かけてみませんか情報BOX>

10.10

「きょうから岸浪百草居展 文人画、南画の入門講座」<GMAT だより>※

11.2

「館林美術館 23 日まで岸浪百草居展 魚類や植物写生 150 点 郷土の画家魅力紹介 学芸員の中田さん人柄や作品解説」※

11.7

「「館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展」ブックガイド 文人画や南画の変遷紹介」<GMAT だより>※

11.20

「美術講座「日本の南画」<出かけてみませんか情報BOX>

11.21

「岸浪百草居展いよいよ 23 日まで 知識増やし楽しく鑑賞を」<GMAT だより>※

・東京新聞

10.15

「群馬県立館林美術館 生誕 120 年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展(前期)」<美術・博物館ガイド>

10.29

「群馬県立館林美術館 生誕 120 年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展(後期)」<美術・博物館ガイド>

・両毛新聞

10.22

「岸浪百草居展 群馬県立館林美術館」※

[定期刊行物]

・足利漫我人

10月号、11月号

「県立館林美術館情報「生誕120年 館林に生まれた日本画家 岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」」＜マガジン・ネットワーク＞

・ギャラリー

9月号、10月号、11月号

「群馬県立館林美術館 生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展」＜美術館展覧会スケジュール＞

11月号

「生誕120年 館林に生まれた日本画家 岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」

・グラフぐんま

10月号、11月号

「館林美術館(館林市日向町) 企画展示「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」」＜イベントガイド＞

・ぐんま広報

10月号

「館林美術館企画展示「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」」＜INFORMATION＞

11月号

「館林美術館企画展示「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展」作品解説会」

・ぐんま情報誌 からつ風

11月・12月号

「群馬県立館林美術館 企画展示「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」」＜ArtMuseum2009 美術館情報＞

・芸術新潮

10月号

「群馬県立館林美術館 生誕120年 日本画家 岸浪百草居とその時代」＜invitation exhibition＞

・趣味の水墨画

12月号

「群馬県立館林美術館 企画展示 生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」＜今月の展覧会＞、
「参加者募集 「南画」とは何か？—中国の文人画と日本の南画入門— 第2回 「日本の南画—江戸時代の新興美術運動—」

・新美術新聞

10月1日号

「群馬県立館林美術館 <企画展> 生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展」＜美術館ギャラリーガイド＞、「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」

・旅の手帖

11月号

「東京駅から1時間30分 群馬県立館林美術館」＜近場の穴場＞

・第33回県民芸術祭報告書

2010.6.10

「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」＜芸術鑑賞機会提供事業＞

・博物館研究

Vol.44 No.10、Vol.44 NO.11

「群馬県立館林美術館「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」」＜イベントカレンダー＞

・美術の窓

10月号

「生誕120年 館林に生まれた日本画家 岸浪百草居展」＜日本美術のススメ＞

10月号、11月号、12月号

「群馬県立館林 岸浪百草居展」＜展覧会情報 美術館＞

・美連協ニュース

11月号

「群馬県立館林美術館 生誕120年 岸浪百草居展」＜加盟館展覧会案内＞

・まいにち

10月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」＜イベント・インフォメーション＞

11月号

「生誕120年 館林出身の日本画家 岸浪百草居展」＜短信＞

・わたらせ倶楽部

2009年秋号

「群馬県立館林美術館 企画展示 生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—」

・渡良瀬通信

10月号、11月号

「館林市 生誕120年 館林に生まれた日本画家 岸浪百草居展」＜渡良瀬インフォメーション＞

11月号

「館林市 生誕120年 館林に生まれた日本画家 岸浪百草居展」＜TOPICS＞

・Deli-J

10月号

「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展 県立館林美術館」＜Event Guide＞

◎放送

[ラジオ]

・エフエム太郎

10.6

8:20-8:25 <ぐんまいきいき情報>

◎関連事業

・美術講座「『南画』とは何か？－中国の文人画と日本の南画入門－」

10.12

第1回「中国の文人画－蘇軾から董其昌まで－」

講師：板倉聖哲氏（東京大学東洋文化研究所准教授）

11.22

第2回「日本の南画－江戸時代の新興美術運動－」

講師：佐藤康宏氏（東京大学大学院教授）

・記念講演会

11.3

「岸浪百草居の人と作品」

講師：中田宏明（当館学芸員）



展示室2



展示室3



展示室4

孤高の日本画家、礧部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―

会期 平成21年12月12日(土)―平成22年4月4日(日)
 一期 礧部草丘 12月12日(土)―1月17日(日)
 二期 四方田草炎 1月20日(水)―2月21日(日)
 三期 大山魯牛 2月24日(水)―4月4日(日)

会場 展示室2、3、4

主催 群馬県立館林美術館

協力 足利市立美術館

観覧料 一般300(240)円 大高生150(120)円

()内は、20名以上の団体割引料金

芸術家が作品を生み出す道のりは、ときに美術学校で学び、師と呼ぶべき人に教わり、様々な美術団体やグループ展で切磋琢磨することはあっても、結局はアトリエでの孤独な営み以外の何ものでもない。その芸術が独自であればあるほど、その孤独さも増す。本展では、孤高の道を歩んだ群馬県ゆかりの三人の日本画家に焦点をあて、その画業と作品を三期に分けて紹介した。

群馬県伊勢崎市に生まれた礧部草丘(1897～1967)は、川合玉堂に入門して帝展や新文展に出品、同門の児玉希望と戊辰会を結成して昭和初期の日本画壇で注目されたが、戦後は団体を離れ、個展を中心に画業を展開。漢詩や俳句にも優れ、作品に自作の詩を添えることもあり、日本画の伝統と精神性を最後まで大事にした作家である。第一期は、群馬県立近代美術館と伊勢崎市が所蔵する礧部草丘の作品33点と資料3点を展示した。

第二期は、埼玉県本庄市に生まれた四方田草炎(1902～1981)を取り上げた。川端龍子に師事した草炎は、自己の芸術を追求するために龍子の主宰する青龍社をとびだし、画壇から遠く離れた地点で制作を続けることになる。その芸術は、本画として完成させる以前の素描作品に余すところなく表現され、横山大観をはじめとした多くの画家をうならせた。中でも群馬県霧積山中にこもって制作した素描の数々は、草炎芸術の本質を十分に伝えてくれる。この展示では、群馬県立近代美術館が所蔵する作品34点を紹介した。

最後に、東京日本橋に生まれ、生後間もなく実家のある足利に移り住んだ大山魯牛(1902～1995)を紹介した。館林の小室翠雲に師事して南画を学び、日本南画院や帝展に出品し、戦後は新興美術院で作品を発表した作家である。終生南画にこだわりながらも西洋の新しい抽象表現や造形性も取り入れ、魯牛独自の作品世界を展開した。その自由奔放な作品世界は、南画の精神性を受け継いだものともいえよう。足利市立美術館所蔵の44点と資料1点によって、その全貌を示した。

本展は、近代日本画の歴史に異彩を放つこれら三人の画家の作品を順次紹介したが、併せて「工芸」「群馬美術協会の作家たち」「同時代の日本画」のコーナーを設けて、関連作品などを展示した。



ポスター

出品目録

第Ⅰ期 2009年12月12日(土)–2010年1月17日(日)

展示室2

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)	所蔵	初出展覧会
1	題不詳	制作年不詳	絹本著色・ 二曲一隻屏風	146.0 × 171.0	伊勢崎市	
2	炭窯	1927年	絹本著色・軸	175.3 × 285.2	群馬県立近代美術館	
3	春曉	1928年	絹本著色・軸	104.5 × 36.1	群馬県立近代美術館	
4	房南閑居	1930年	絹本著色・額	255.0 × 131.9	群馬県立近代美術館	第11回帝展
5	豊秋村図・梅花村図	1931年	紙本著色・ 六曲一双屏風	各158.0 × 350.0	群馬県立近代美術館	
6	犬吠埼図	1933年	絹本著色・軸	80.0 × 50.4	群馬県立館林美術館	
7	緑陰遊禽図	1934年	絹本著色・軸	130.1 × 41.0	群馬県立近代美術館	
8	梅華書屋	制作年不詳	絹本著色・軸	130.0 × 27.0	伊勢崎市	
9	海岸和舟	制作年不詳	紙本著色・軸	128.0 × 65.0	伊勢崎市	
10	秋立つ浦	1936年	紙本著色・ 六曲一双屏風	各177.0 × 372.0	群馬県立近代美術館	昭和11年文展 招待展
11	富貴花	1939年	紙本著色・軸	130.0 × 58.6	伊勢崎市	
12	巖島霽図・金華豊兆	1940年	絹本著色・軸	各42.0 × 51.6	群馬県立近代美術館	
13	東海春曉	1940年	絹本著色・額	108.8 × 142.9	伊勢崎市	紀元2600年 奉祝展
14	東海神秀	制作年不詳	紙本著色・軸	130.0 × 43.0	伊勢崎市	
15	出漁	制作年不詳	絹本著色・軸	128.7 × 35.8	伊勢崎市	
16	海浜	1948年頃	絹本著色・軸	49.8 × 56.7	群馬県立近代美術館	
17	潮気涛勢	制作年不詳	絹本著色・軸	49.0 × 52.0	伊勢崎市	
18	萌春	1951年	絹本著色・額	60.0 × 66.0	群馬県立近代美術館	第4回三越個展
19	山峡	1952年	絹本著色・額	69.0 × 73.0	群馬県立近代美術館	第5回三越個展
20	残雪	1956年	紙本著色・額	48.0 × 61.0	群馬県立近代美術館	第9回三越個展
21	初夏	制作年不詳	絹本著色・軸	118.1 × 35.7	伊勢崎市	
22	鴛鴦	1956年	絹本著色・軸	42.4 × 50.7	群馬県立近代美術館	
23	夏曉清涼	1958年	紙本著色・額	66.0 × 71.0	群馬県立近代美術館	第11回三越個展
24	入江	制作年不詳	紙本著色・額	38.1 × 61.0	伊勢崎市	
25	朝陽	1960年	紙本著色・額	63.0 × 70.0	群馬県立近代美術館	第13回三越個展
26	孿顔曉妝	制作年不詳	絹本著色・軸	51.0 × 57.5	伊勢崎市	
27	山麓清秋	制作年不詳	絹本著色・軸	42.8 × 51.0	伊勢崎市	
28	洗心	1961年	紙本著色・額	80.0 × 69.0	群馬県立近代美術館	第14回三越個展
29	兜	1961年	紙本著色・軸	59.5 × 41.2	群馬県立近代美術館	
30	空山瀑声	1962年	紙本著色・額	79.0 × 67.0	群馬県立近代美術館	第15回三越個展
31	霧氷	1963年	紙本著色・額	61.0 × 46.0	群馬県立近代美術館	第16回三越個展
32	谷川岳	1966年	紙本著色・ 六曲一双屏風	各155.0 × 362.0	群馬県立近代美術館	
33	自画像	制作年不詳	紙本著色・軸	185.5 × 135.0	群馬県立近代美術館	
	資料 『游心帖』(17図)	制作年不詳	紙本著色・画帖	28.6 × 18.2	群馬県立近代美術館	
	資料 扇子 松 (大)	制作年不詳		31.0 × 45.0	群馬県立近代美術館	
	資料 扇子 松 (小)	制作年不詳		24.0 × 40.0	群馬県立近代美術館	

・リストの順番は概ね制作年順であるが、制作年不詳の作品については推測の域を出ていない。

工芸

展示室3

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×縦×横cm)	所蔵
1	芹沢銈介	『十三妹』挿絵no.48	1966年	型絵染・紙	16.2 × 20.7	群馬県立近代美術館
2	芹沢銈介	『十三妹』挿絵no.67	1966年	型絵染・紙	16.7 × 20.6	群馬県立近代美術館
3	芹沢銈介	いろは文鏤朱地黄土 掛け縮緬地着物	1975年	型絵染・絹	166.2 × 62.7	群馬県立近代美術館
4	志村ふくみ	裂の筥	1984年	紬織・絹	各20.8 × 19.3	群馬県立近代美術館
		色と光のころも 紫白段 晶(しょう) 小波(さざなみ) 朱堅縞 西洋茜 ペルシヤ				

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×縦×横cm)			所蔵
	志村ふくみ	窓辺 茜堅縞 嵯峨茜 けやき 花菖蒲 花まつり 生絹(すずし) 藍濃淡格子 琉球茶絰 一位染 花潜り(はなむぐり) 糸かけ格子 釣舟 海市(二) 青と赤 沢わたり						
5	小林尚美	Ito-83	1986年	木綿	90.0	× 335.0	× 4.0	群馬県立館林美術館
6	小林尚美	Cosmic Ring R-’92	1992年	木綿	12.0	× 250.0	× 280.0	群馬県立館林美術館
7	草間喆雄	Landscape Wall B	1982年	綿	120.0	× 212.0	× 7.0	群馬県立近代美術館

群馬美術協会の作家たち

日本画

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)			所蔵
1	新井洞巖	天台瀑布図	1927年	紙本墨画・軸	150.0	× 46.1		群馬県立近代美術館
2	新井洞巖	秋溪漁父図	1935年	紙本墨画・軸	147.2	× 45.9		群馬県立近代美術館
3	小室翠雲	萬年報喜図	1931年	絹本着色・ 二曲一隻屏風	166.5	162.0		個人蔵
4	恩田得寿	八手に蜂	1940年頃	絹本着色・額	97.5	× 125.0		個人蔵
5	岸浪百草居	溪谷	制作年不詳	紙本着色・ 二曲一隻屏風	163.4	× 168.0		個人蔵
6	北村明道	児島高德像	制作年不詳	紙本着色・ 二曲一隻屏風	161.0	× 159.0		個人蔵
7	田中青坪	英国ポインター種 スレイズシェラー号	制作年不詳	紙本墨画・軸	59.8	× 72.0		個人蔵
8	福田元子	夕映え	1943年	紙本着色・額	170.0	× 106.0		群馬県立館林美術館
9	深尾廣道	早春	制作年不詳	紙本着色・ 二曲一隻屏風	168.0	× 169.5		個人蔵

洋画

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)			所蔵
10	横堀角次郎	細き道	1917年	油彩・板	30.2	× 30.7		群馬県立近代美術館
11	横堀角次郎	川べり	1923年頃	油彩・カンヴァス	31.7	× 40.9		群馬県立近代美術館
12	横堀角次郎	田植えもすみて	1944年	油彩・カンヴァス	45.5	× 53.2		群馬県立近代美術館
13	横堀角次郎	東大三四郎池	1962年	油彩・カンヴァス	72.5	× 91.0		群馬県立近代美術館
14	南城一夫	野菜のある静物	1947-48年	油彩・カンヴァス	72.7	× 100.0		群馬県立近代美術館
15	南城一夫	盛花	1950年	油彩・カンヴァス	61.0	× 73.0		群馬県立近代美術館
16	南城一夫	雪の城	1960年	油彩・板	40.6	× 31.5		群馬県立近代美術館
17	塚本茂	千人針を縫う	1943年	油彩・カンヴァス	117.0	× 90.0		群馬県立近代美術館
18	清水刀根	黒衣の女	1931年	油彩・カンヴァス	130.2	× 97.8		群馬県立近代美術館
19	中村節也	花卉水庭	1935年	油彩・カンヴァス	130.3	× 162.1		群馬県立近代美術館
20	正田二郎	M市公園	1931年	油彩・カンヴァス	93.8	× 93.6		群馬県立近代美術館
21	山口薫	パリの画室から	1932年	油彩・カンヴァス	80.5	× 65.0		群馬県立近代美術館
22	山口薫	森	1936年	油彩・カンヴァス	72.7	× 60.6		群馬県立近代美術館
23	山口薫	クリスタル壺	1948年	油彩・カンヴァス	99.5	× 80.2		群馬県立近代美術館
24	山口薫	観音山	1950年	油彩・カンヴァス	45.5	× 52.7		群馬県立近代美術館

工芸

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高cm)			所蔵
25	森村西三	梅花透紋水盤	制作年不詳	鋳銅	15.5	× 24.0	× 18.0	群馬県立近代美術館
26	森村西三	鋳銅鯉置物	制作年不詳	鋳銅	13.5	× 11.0	× 36.0	伊勢崎市
27	森村西三	鋳銅狸置物	制作年不詳	鋳銅	18.0	× 23.0		伊勢崎市
28	森村西三	鋳銅唐獅子香炉	制作年不詳	鋳銅	18.0	× 18.0		伊勢崎市

第Ⅱ期 2010年1月20日(水)-2月21日(日)
四方田草炎(1902-1981)

展示室2

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)		所蔵
1	岩山	制作年不詳	紙本著色、額	82.1	× 119.4	群馬県立近代美術館
2	牡丹	制作年不詳	墨、鉛筆・紙、額	132.3	× 123.8	群馬県立近代美術館
3	溪流	制作年不詳	木炭・紙、額	152.9	× 96.1	群馬県立近代美術館
4	風景	制作年不詳	墨、鉛筆・紙、額	78.9	× 121.4	群馬県立近代美術館
5	霧積溪谷	制作年不詳	墨、鉛筆・紙、額	190.0	× 127.0	群馬県立近代美術館
6	霧積	制作年不詳	墨、淡彩・紙、額	86.1	× 75.0	群馬県立近代美術館
7	野猿	制作年不詳	墨、鉛筆、淡彩・紙、額	70.2	× 55.3	群馬県立近代美術館
8	鳥と溪流	制作年不詳	墨、鉛筆、淡彩・紙、額	72.2	× 106.0	群馬県立近代美術館
9	石に蛙	制作年不詳	墨、鉛筆、淡彩・紙、額	66.0	× 90.0	群馬県立近代美術館寄託
10	春雪	制作年不詳	墨、淡彩・紙、額	74.2	× 108.5	群馬県立近代美術館
11	霧積	制作年不詳	墨、鉛筆、淡彩・紙	54.2	× 76.6	群馬県立近代美術館
12	霧積	制作年不詳	墨、鉛筆・紙	19.2	× 28.2	群馬県立近代美術館
13	霧積	制作年不詳	鉛筆・紙	28.1	× 38.4	群馬県立近代美術館
14	霧積	制作年不詳	墨、鉛筆、淡彩・紙、額	54.3	× 77.6	群馬県立近代美術館
15	霧積	制作年不詳	墨、鉛筆・紙、額	54.3	× 76.7	群馬県立近代美術館
16	霧積	制作年不詳	墨、鉛筆・紙、額	54.1	× 76.7	群馬県立近代美術館
17	山	制作年不詳	墨、淡彩・紙、額	31.9	× 37.9	群馬県立近代美術館
18	風景	制作年不詳	墨、木炭、淡彩・紙、額	62.3	× 100.9	群馬県立近代美術館
19	鳥に楓	制作年不詳	鉛筆、淡彩・紙、額	62.0	× 91.0	群馬県立近代美術館寄託
20	梅の枝に鳥	制作年不詳	墨、鉛筆、淡彩・紙、額	54.3	× 84.1	群馬県立近代美術館
21	枝と鳥	制作年不詳	墨・紙、額	107.0	× 75.0	群馬県立近代美術館寄託
22	木	制作年不詳	墨、鉛筆、木炭、淡彩・紙、額	147.5	× 63.5	群馬県立近代美術館寄託
23	裸婦	制作年不詳	木炭・紙、額	215.0	× 75.0	群馬県立近代美術館寄託
24	裸婦	制作年不詳	木炭・紙、額	135.0	× 76.0	群馬県立近代美術館寄託
25	裸婦	制作年不詳	木炭、鉛筆・紙、額	110.5	× 78.0	群馬県立近代美術館寄託
26	山稜	制作年不詳	鉛筆・紙、額	84.3	× 132.8	群馬県立近代美術館寄託
27	枯葉	制作年不詳	鉛筆、淡彩・紙、額	62.0	× 90.0	群馬県立近代美術館寄託
28	皿に枯葉	制作年不詳	墨、鉛筆、彩色・紙、額	28.0	× 38.7	群馬県立近代美術館寄託
29	睡蓮	制作年不詳	鉛筆、淡彩・紙、額	52.0	× 46.5	群馬県立近代美術館寄託
30	枝に鳥	制作年不詳	鉛筆・紙、額	47.0	× 51.0	群馬県立近代美術館寄託
31	からす	制作年不詳	墨、鉛筆、淡彩・紙、額	52.0	× 44.5	群馬県立近代美術館寄託
32	きじ(やまどり)	制作年不詳	鉛筆・紙、額	35.0	× 75.5	群馬県立近代美術館寄託
33	鳩	制作年不詳	鉛筆・紙、額	48.0	× 63.0	群馬県立近代美術館寄託
34	二羽の鳩	制作年不詳	鉛筆、木炭・紙、額	46.0	× 56.0	群馬県立近代美術館寄託

同時代の日本画

展示室2

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)		所蔵
1	酒井三良	梨畑	1923年	紙本著色、軸	82.5	× 101.2	群馬県立館林美術館
2	小林三季	秋景図	1935年	紙本著色、二曲一隻屏風	144.5	× 176.0	個人蔵
3	野田九浦	愛鷹之図	制作年不詳	絹本著色、軸	143.3	× 53.0	個人蔵
4	高橋常雄	宇	1973年	紙本著色、額	145.7	× 70.5	群馬県立近代美術館
5	高橋常雄	新雪	1987年	紙本著色、額	58.0	× 180.0	群馬県立近代美術館寄託
6	堂本尚郎	デザイナー	制作年不詳	紙本著色、額	119.0	× 162.0	群馬県立近代美術館寄託
7	塩原友子	室内(ミシンの前)	1953年	紙本著色、額	120.0	× 89.0	群馬県立近代美術館
8	塩原友子	赤城山曼荼羅	1985年	紙本著色、四曲一隻屏風	170.0	× 310.0	群馬県立近代美術館寄託
9	岡本弥寿子	陽が沈む	1982年	紙本著色、額	130.3	× 162.1	群馬県立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)	所蔵
10	岡本弥寿子	夕べ	1984年	紙本著色、額	181.0 × 118.0	群馬県立近代美術館

工芸

展示室3

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×縦×横cm)	所蔵
1	磯辺晴美	いにしへの軌跡	1990年	麻、ウール、銀糸、絹、和紙	143.0 × 289.0	群馬県立近代美術館
2	吉村正郎	Air Cloth -9-	1996年	絹、木綿糸	70.0 × 70.0 × 70.0	群馬県立館林美術館
3	北村武資	金地経錦丸帯	1987年	経錦・絹、金糸	幅71.0	群馬県立近代美術館
4	北村武資	羅地金欄丸帯	1997年	羅金・絹、金糸	幅71.0	群馬県立近代美術館
5	小宮康正	長板中形着物「亀甲取花蝶」	1988年	型染・綿	162.0 × 65.0	群馬県立近代美術館
6	志村ふくみ	裂の筥 白菖(はくしょう) ヴォルスに 黄百段 浅緑格子一生絹 海月 川柳市松(かわやな ぎいちまつ) 萌黄堅縞 紫紋小格子一紫根 青山吹 みわらび(美しい童…琉球のことば) 沢桔梗 紅花格子 月待 藤 麦秋 冬青(そよご) 梔子十字 蘇芳堅縞	1984年	紬織・絹	各20.8 × 19.3	群馬県立近代美術館

群馬美術協会の作家たち

日本画

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)	所蔵
1	福田元子	鶉	制作年不詳	紙本淡彩	62.2 × 67.7	群馬県立近代美術館
2	福田元子	綿	制作年不詳	紙本淡彩	62.7 × 78.0	群馬県立近代美術館
3	新井洞巖	清溪垂釣図	1931年	紙本著色、軸	137.5 × 42.9	群馬県立近代美術館
4	新井洞巖	深巖濺瀑図	1939年	紙本淡彩、軸	180.1 × 41.7	群馬県立近代美術館
5	北村明道	児嶋高德	制作年不詳	紙本著色、二曲一隻屏風	161.0 × 159.0	個人蔵
6	小室翠雲	福は内	1906年	絹本著色、軸	132.5 × 50.3	個人蔵
7	岸浪百草居	蛙図	制作年不詳	絹本著色、二曲一隻屏風	140.8 × 147.4	個人蔵
8	深尾廣道	梅に鶯	制作年不詳	紙本著色、二曲一隻屏風	136.5 × 142.0	個人蔵
9	恩田得寿	鶏と葡萄	1950年	紙本著色、額	89.5 × 120.0	個人蔵
10	田中青坪	英国ポインター種スレイズシェラー号	制作年不詳	紙本著色、軸	59.8 × 72.0	個人蔵

洋画

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵
11	横堀角次郎	細き道	1917年	油彩・カンヴァス	30.2 × 30.7	群馬県立近代美術館
12	横堀角次郎	川べり	1923年頃	油彩・カンヴァス	31.7 × 40.9	群馬県立近代美術館
13	横堀角次郎	田植えもすみて	1944年	油彩・カンヴァス	45.5 × 53.2	群馬県立近代美術館
14	横堀角次郎	東大三四郎池	1962年	油彩・カンヴァス	72.5 × 91.0	群馬県立近代美術館
15	南城一夫	野菜のある静物	1947-48年	油彩・カンヴァス	72.7 × 100.0	群馬県立近代美術館
16	南城一夫	盛花	1950年	油彩・カンヴァス	61.0 × 73.0	群馬県立近代美術館
17	南城一夫	雪の城	1960年	油彩・板	40.6 × 31.5	群馬県立近代美術館
18	山口薫	パリの画室から	1932年	油彩・カンヴァス	80.5 × 65.0	群馬県立近代美術館
19	山口薫	森	1936年	油彩・カンヴァス	72.7 × 60.6	群馬県立館林美術館
20	山口薫	クリスタル壺	1948年	油彩・カンヴァス	99.5 × 80.2	群馬県立近代美術館
21	山口薫	観音山	1950年	油彩・カンヴァス	45.5 × 52.7	群馬県立近代美術館
22	塚本茂	千人針を縫う	1943年	油彩・カンヴァス	117.0 × 90.0	群馬県立近代美術館
23	正田二郎	M市公園	1931年	油彩・カンヴァス	93.8 × 93.6	群馬県立近代美術館
24	中村節也	花卉水庭	1935年	油彩・カンヴァス	130.3 × 162.1	群馬県立近代美術館
25	清水刀根	黒衣の女	1931年	油彩・カンヴァス	130.2 × 97.8	群馬県立近代美術館

工芸

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×縦×横cm)	所蔵
26	森村酉三	梅花透紋水盤	制作年不詳	鋳銅	15.5 × 24.0 × 18.0	伊勢崎市
27	森村酉三	鋳銅鯉置物	制作年不詳	鋳銅	13.5 × 11.0 × 36.0	伊勢崎市
28	森村酉三	鋳銅狸置物	制作年不詳	鋳銅	18.0 × 15.5 × 19.0	伊勢崎市
29	森村酉三	鋳銅唐獅子香炉	制作年不詳	鋳銅	18.0 × 16.0 × 18.5	伊勢崎市

第Ⅲ期 2010年2月24日(水)~4月4日(日)
大山魯牛(1902-1955)

展示室2、3

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)	所蔵
1	山水長巻	1923年	絹本墨画淡彩、 卷子	41.0 × 512.0	足利市立美術館
2	書屋図	1923年	絹本墨画淡彩、 額装	54.0 × 82.5	足利市立美術館
3	石榴	1924年	絹本著色、軸装	160.0 × 50.0	足利市立美術館
4	水趣四題 春晴漁客	1924年	絹本著色、軸装	143.0 × 41.0	足利市立美術館
5	水趣四題 山河杳然	1924年	絹本著色、軸装	143.0 × 41.0	足利市立美術館
6	水趣四題 春水四沢満	1924年	絹本著色、軸装	143.0 × 41.0	足利市立美術館
7	水趣四題 流水瀑布	1924年	絹本著色、軸装	143.0 × 41.0	足利市立美術館
8	閑居	1925年	紙本墨画淡彩、 額装	70.0 × 57.0	足利市立美術館
9	寒江	1925年頃	絹本著色、額装	86.0 × 142.0	足利市立美術館
10	青緑山水	1925年頃	絹本著色、額装	112.0 × 77.0	足利市立美術館
11	耕地	1926年	絹本著色、軸装	136.0 × 114.5	足利市立美術館
12	耕田	1926年頃	紙本著色、軸装	88.0 × 55.5	足利市立美術館
13	晩秋	1926年	紙本著色、額装	143.5 × 118.0	足利市立美術館
14	空山	1927年	紙本著色、額装	117.0 × 89.5	足利市立美術館
15	落漠	1928年	紙本著色、 二曲一隻屏風	169.0 × 166.0	足利市立美術館
16	秋江	1928年	紙本著色、額装	142.0 × 117.0	足利市立美術館
17	古木	1928年	紙本著色、額装	145.0 × 116.5	足利市立美術館
18	三秋逸興図	1929年	紙本著色、額装	151.0 × 118.0	足利市立美術館
19	爽晴	1920年代後半	紙本著色、額装	151.0 × 115.0	足利市立美術館
20	林	1920年代後半	紙本著色、額装	145.0 × 117.0	足利市立美術館
21	老柿樹	1933年	紙本著色、 六曲一隻屏風	164.5 × 360.5	足利市立美術館
22	秋	1930年代後半	紙本著色、額装	114.0 × 89.0	足利市立美術館
23	遊ぶネコ	1955年	紙本著色、額装	158.0 × 109.0	足利市立美術館

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)		所蔵
24	山	1957	紙本著色、額装	159.0	× 298.5	足利市立美術館
25	樹海	1961年	紙本著色、額装	80.0	× 70.0	足利市立美術館
26	突兀	1960年代初頭	紙本著色、額装	91.0	× 130.0	足利市立美術館
27	無人境	1962年	紙本著色、額装	41.0	× 70.0	足利市立美術館
28	双樹	1962年	紙本著色、額装	43.8	× 62.3	足利市立美術館
29	秋彩	1962年頃	紙本著色、額装	46.5	× 59.0	足利市立美術館
30	郊外	1969年頃	紙本著色、額装	91.0	× 136.0	足利市立美術館
31	樹林	1960年代後半	紙本著色、額装	91.0	× 136.0	足利市立美術館
32	風	1971年	紙本著色、額装	91.0	× 159.0	足利市立美術館
33	雨	1971年	紙本著色、額装	91.0	× 159.0	足利市立美術館
34	暮れゆく山	1974年	紙本著色、額装	96.0	× 159.0	足利市立美術館
35	遊水池	1974	紙本著色、額装	91.0	× 159.0	足利市立美術館
36	乾坤一草亭	1977年	紙本著色、額装	145.5	× 97.0	足利市立美術館
37	山陰独行	1980年前後	紙本著色、額装	63.0	× 46.2	足利市立美術館
38	山高水長	1980年前後	紙本著色、額装	65.0	× 47.0	足利市立美術館
39	本栖湖富士	1982年	紙本著色、額装	162.2	× 112.2	足利市立美術館
40	残雪梅邨	1984年	紙本著色、 二曲一隻屏風	172.0	× 164.0	足利市立美術館
41	山林存自由	1986年	紙本著色、 二曲一隻屏風	168.0	× 151.0	足利市立美術館
42	梅花待我	1987年	紙本著色、額装	97.0	× 145.0	足利市立美術館
43	三寒四温	1988年	紙本著色、額装	162.0	× 112.0	足利市立美術館
44	春日飛雪	1989年	紙本著色、額装	112.0	× 162.0	足利市立美術館
資料『目下布散記』		1983-1994年	日記帳			足利市立美術館寄託

群馬美術協会の作家たち

日本画

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(縦×横cm)		所蔵
1	新井洞巖	山水図	1947年	紙本淡彩、軸装	170.0	× 86.7	群馬県立近代美術館
2	小室翠雲	萬年報喜図	1931年	紙本著色、 二曲一隻屏風	166.5	162.0	個人蔵
3	小室翠雲	福は内	制作年不詳	絹本著色、軸装	132.5	× 50.3	個人蔵
4	恩田得寿	八手に蜂	1940年頃	絹本著色、額装	97.5	× 125.0	個人蔵
5	岸浪百草居	アジサイとアユ	制作年不詳	紙本著色、 二曲一隻屏風	153.0	× 150.4	個人蔵
6	磯部草丘	犬吠埼図	1933年	絹本著色、軸装	80.0	× 50.4	群馬県立館林美術館
7	福田元子	泰山木	制作年不詳	紙本著色	62.2	× 133.5	群馬県立近代美術館
8	深尾廣道	早春	制作年不詳	紙本著色、 二曲一隻屏風	168.0	× 169.5	個人蔵
9	横堀角次郎	細き道	1917年	油彩・板	30.2	× 30.7	群馬県立近代美術館
10	横堀角次郎	川べり	1923年頃	油彩・カンヴァス	31.7	× 40.9	群馬県立近代美術館
11	横堀角次郎	田植えもすみて	1944年	油彩・カンヴァス	45.5	× 53.2	群馬県立近代美術館
12	横堀角次郎	東大三四郎池	1962年	油彩・カンヴァス	72.5	× 91.0	群馬県立近代美術館
13	南城一夫	野菜のある静物	1947-48年	油彩・カンヴァス	72.7	× 100.0	群馬県立近代美術館
14	南城一夫	盛花	1950年	油彩・カンヴァス	61.0	× 73.0	群馬県立近代美術館
15	南城一夫	雪の城	1960年	油彩・板	40.6	× 31.5	群馬県立近代美術館

洋画

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)		所蔵
16	山口薫	パリの画室から	1932年	油彩・カンヴァス	80.5	× 65.0	群馬県立近代美術館
17	山口薫	森	1936年	油彩・カンヴァス	72.7	× 60.6	群馬県立館林美術館
18	山口薫	クリスタル壺	1948年	油彩・カンヴァス	99.5	× 80.2	群馬県立近代美術館
19	山口薫	観音山	1950年	油彩・カンヴァス	45.5	× 52.7	群馬県立近代美術館
20	塚本茂	千人針を縫う	1943年	油彩・カンヴァス	117.0	× 90.0	群馬県立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)		所蔵
21	正田二郎	M市公園	1931年	油彩・カンヴァス	93.8	× 93.6	群馬県立近代美術館
22	中村節也	花卉水庭	1935年	油彩・カンヴァス	130.3	× 162.1	群馬県立近代美術館
23	清水刀根	黒衣の女	1931年	油彩・カンヴァス	130.2	× 97.8	群馬県立近代美術館

工芸

展示室4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高×縦×横cm)			所蔵
24	森村西三	梅花透紋水盤	制作年不詳	鋳銅	15.5	× 24.0	× 18.0	群馬県立近代美術館
25	森村西三	鋳銅鯰置物	制作年不詳	鋳銅	13.5	× 11.0	× 36.0	伊勢崎市
26	森村西三	鋳銅狸置物	制作年不詳	鋳銅	18.0	× 15.5	× 19.0	伊勢崎市
27	森村西三	鋳銅唐獅子香炉	制作年不詳	鋳銅	18.0	× 16.0	× 18.5	伊勢崎市

◎印刷物・会場作成物

・ポスター B2
・ちらし A4
・パネル
挨拶パネル1枚
解説パネル 12 枚

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]

・朝日ぐんま

1.8

「孤高の日本画家を紹介 館林美術館 17 日まで「磯部草丘」＊

2.5

「孤高の日本画家 磯部草丘 四方田草炎 大山魯牛 ―自然をとらえる独自のまなざし― 細部見つめ本質を抽出」＜美術探訪＞

・朝日新聞

3.23

「特別展示「孤高の日本画家 大山魯牛」＜群馬マリオン＞

・太田タイムス

12.5

「孤高の道を歩んだ日本画家3 人を紹介 群馬県立館林美術館」＊

・ぐんま経済新聞

12.3

「孤高の日本画家展 館林美術館 第1 部は磯部草丘」＊

・産経新聞

3.

「孤高の日本画家 大山魯牛」＜Art Calendar＞

・上毛新聞

12.11

「県立館林美術館(館林市日向町)「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛 ―自然をとらえる独自のまなざし― 第Ⅰ部: 磯部草丘(1987～1967)」＜気になる情報ばれっと 県内美術館 博物館＞

12.12

「館林美術館コレクション展示「油彩その他」＜ぐんまちゃんの掲示板＞

12.13、1.9、1.10

「館林美術館特別展示「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―」作品解説会＜ぐんまちゃんの掲示板＞

1.8

「県立館林美術館＜プレゼント＞

1.20

「日本画に理解求めて 館林美術館でワークショップ 上野さん招き画材、技法学ぶ」＊

1.22

「県立館林美術館(館林市日向町)「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛 ―自然をとらえる独自のまなざし― 第Ⅱ部: 四方田草炎(1987～1967)」＜気になる情報ばれっと 県内美術館 博物館＞

2.12

「県立館林美術館＜気になる情報ばれっと 県内美術館博物館＞

2.27

「「孤高の日本画家」第3 部 大山魯牛 館林美術館 南画に捧げた生涯の軌跡」

＊

3.5、3.26

「県立館林美術館(館林市日向町)「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛 ―自然をとらえる独自のまなざし― 第Ⅲ部・大山魯牛」＜気になる情報ばれっと 県内美術館 博物館＞

3.9

「館林美術館特別展示「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―」作品解説会＜ぐんまちゃんの掲示板＞

3.12

「館林美術館特別展示「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―」第Ⅲ部 大山魯牛(1902～1995)」＜ぐんまちゃんの掲示板＞

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

11.30、12.4、12.7、12.18、12.21、12.25、1.1、1.8、1.11、1.15

「企画展「孤高の日本画家 磯部草丘」＜出かけてみませんか情報BOX＞

12.12

「特別展示「孤高の日本画家、第1 部 磯部草丘 大胆な構図と強烈な色彩」＜GMAT だより＞＊

1.8

「「孤高の日本画家、磯部草丘」学芸員による作品解説会＜出かけてみませんか情報BOX＞

1.11、1.15、1.18、1.22、1.25、1.29、2.1、2.5、2.12、2.15、2.19

「企画展「孤高の日本画家 四方田草炎」＜出かけてみませんか情報BOX＞

1.16

「特別展示「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛」のご案内 素描にも完ぺきさ追求＜GMAT だより＞＊

1.23

「ワークショップ「日本画鑑賞入門―ものとしての側面から」第1 回「素材を描き方からの日本画鑑賞」ご報告 独自の技法で制作体験＜GMAT だより＞＊

1.25

「館林美術館 妥協許さぬ画業 紹介 来月 21 日までに四方田草炎展 説明会にファン 18 人」＊

2.12、2.15、2.19、2.22、2.26、3.1、3.5、3.8、3.12、3.15、3.19、3.22、3.26、3.29、4.2

「企画展「孤高の日本画家 大山魯牛」＜出かけてみませんか情報BOX＞

2.12、2.15、2.19、2.22、2.26

「学芸員による作品解説会「大山魯牛展」＜出かけてみませんか情報BOX＞

2.15

「学芸員による作品解説会「四方田草炎展」＜出かけてみませんか情報BOX＞

4.3

「特別展示「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛」のご案内 第Ⅲ部大山魯牛 画風の変遷示す 44 点＜GMAT だより＞＊

・東京新聞

12.10

「群馬県立館林美術館 孤高の日本画家 第Ⅰ部:磯部草丘」＜美術・博物館ガイド＞

1.14

「群馬県立館林美術館 孤高の日本画家 第Ⅱ部:四方田草炎」＜美術・博物館ガイド＞

2.18、3.25

「群馬県立館林美術館 孤高の日本画家 第Ⅲ部:大山魯牛」＜美術・博物館ガイド＞

・読売新聞

1.15

「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし」＜ドライブで立ち寄る“冬の美術館”＞

・阿毛新聞

12.10

「孤高の日本画家 磯部草丘 群馬県立館林美術館」＜手軽に行けるカルチャードライブ近県美術館、博物館だより＞＊

1.15

「孤高の日本画家 四方田草炎 群馬県立館林美術館」＜手軽に行けるカルチャードライブ 近県美術館、博物館だより＞＊

2.1

「孤高の日本画家 第Ⅲ部 大山魯牛 群馬県立館林美術館」＜手軽に行けるカルチャードライブ 近県美術館、博物館だより＞＊

[定期刊行物]

・足利漫我人

12、2・3月号

「県立館林美術館情報 孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛 ―自然をとらえる独自のまなざし―」＜マガジン・ネットワーク＞

・ギャラリー

1、2月号

「群馬県立館林美術館 「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―」＜全国の展覧会スケジュール＞

3、4月号

「群馬県立館林美術館 大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―」＜全国の展覧会スケジュール＞

・グラフぐんま

12月号

「館林美術館(館林市日向町) 特別展示「孤高の日本画家 磯部草丘」＜イベントガイド＞

1月号

「館林美術館(館林市日向町) 特別展示「孤高の日本画家 四方田草炎」＜イベントガイド＞

2、3月号

「館林美術館(館林市日向町) 特別展示「孤高の日本画家―自然をとらえる独自のまなざし―第3部:大山魯牛(1902-1995)」＜イベントガイド＞

・ぐんま広報

12月号

「館林美術館特別展示 「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛」＜INFORMATION＞」

・ぐんま情報誌 からっ風

1・2、3・4月号

「群馬県立館林美術館 特別展示 「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―」＜ArtMuseum2010 美術館情報＞

・ゴールデン・ライフ

2010年春号

「群馬県立館林美術館 特別展示 孤高の日本画家 磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛 ―自然をとらえる独自のまなざし― 第Ⅲ部 大山魯牛」＜全国の美術館で開催される美術館のスケジュール＞

・新美術新聞

3.21 (No.1211)

「孤高の日本画家 大山魯牛 自然をとらえる独自のまなざし」

・博物館研究

Vol.45 No.1

「群馬県立館林美術館 「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―第1部:磯部草丘(1987～1967)」

Vol.45 No.2

「群馬県立館林美術館 「孤高の日本画家四方田草炎―自然をとらえる独自のまなざし―」

Vol.45 No.4

「群馬県立館林美術館 「孤高の日本画家大山魯牛―自然をとらえる独自のまなざし―」

・美術の窓

1月号

「群馬県立館林 日本画・工芸(仮)前期」＜展覧会情報＞

2月号

「群馬県立館林 孤高の日本画家 四方田草炎」＜展覧会情報＞、「孤高の日本画家 四方田草炎―自然をとらえる独自のまなざし―」＜話題の展覧会 美術館＞

3月号

「群馬県立館林 四方田草炎 孤高の日本画家 大山魯牛」＜展覧会情報＞

4月号

「群馬県立館林 孤高の日本画家 大山魯牛」＜展覧会情報＞

・美連協ニュース

11月号

「特別展示 日本画・工芸」＜加盟館展覧会案内＞

2月号

「群馬県立館林美術館 特別展示「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛」＜加盟館展覧会案内＞

・まいにち

12、1月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 孤高の日本画家、磯部草丘―自然をとらえる独自のまなざし―」＜イベント・インフォメーション＞

2月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 孤高の日本画家、四方田草炎・ 大山魯牛」<イベント・インフォメーション>

3、4月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 孤高の日本画家、大山魯牛」<イベント・インフォメーション>

・渡良瀬通信

12月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 孤高の日本画家、磯部草丘―自然をとらえる独自のまなざし―」<渡良瀬インフォメーション>

1月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎」<渡良瀬インフォメーション>

2月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 孤高の日本画家、四方田草炎・大山魯牛」<渡良瀬インフォメーション>、「群馬県立館林美術館 招待券」<PRESENT>

3、4月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 孤高の日本画家、大山魯牛」<渡良瀬インフォメーション>

・Viva!amigo

1.29

「県立館林美術館」<多々良沼周辺立ち寄りスポット>

◎放送

[ラジオ]

・エフエム群馬

12. 24、1.6

〈ぐんま情報トッピング〉

・エフエム太郎

12.21、1.12

〈ぐんまいさいき情報〉

◎関連事業

・ワークショップ「日本画鑑賞入門―ものとしての側面から」

1.16 第一回

「素材と描き方からの日本画鑑賞」

講師: 上野瑞香(日本画家)

3.22 第二回

「表装と飾り方からの日本画鑑賞」

講師: 山崎信雄(表具師)



展示室2（第Ⅱ期 四方田草炎 会場風景）



展示室2（第Ⅱ期 四方田草炎 会場風景）



展示室3（第Ⅱ期 工芸 会場風景）



展示室4（第Ⅱ期 群馬美術協会の作家たち 会場風景）

第1期

展示室1

〔近現代の彫刻Ⅰ〕 4月18日(土)－6月21日(日)

展示室2

〔油彩・南桂子・永井一正〕 4月18日(土)－6月21日(日)

第2期

展示室4

〔油彩・藤牧義夫の版画〕 7月4日(土)－9月23日(水)

第3期

展示室1

〔近現代の彫刻Ⅱ〕 10月10日(土)－4月4日(日)

展示室4

〔油彩・現代美術〕 10月10日(土)－11月23日(月)

第4期

展示室4

〔油彩その他〕 12月12日(土)－4月4日(日)

◎印刷物・会場作成物

[近現代の彫刻Ⅰ]

・会場配布用作品リスト

[油彩・南桂子・永井一正]

・会場配布用作品リスト

[油彩・藤牧義夫の版画]

・会場配布用作品リスト

[近現代の彫刻]

・会場配布用作品リスト

[油彩・現代美術]

・会場配布用作品リスト

[油彩その他]

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

[新聞等]

・朝日新聞

4.10 「田園と一体モダンな姿」〈ぶらりぶらり〉

・上毛新聞

5.16 「授業で美術館使って 教職員対象にノウハウ指導」

5.22 「西洋美術史を学芸員が解説 1月まで全16回入門講座スタート」

8.4 「来館者迎える動物像」

9.23 「県有施設 イベント強化で誘客 存廃論議に奮起」*

10.3 「館林美術館 県直営で地域密着を 運営懇談会が知事に報告書」

10.19 「美術館に能楽響く」

10.24 「館林美術館 授業に作品鑑賞を」

10.27 「130人幽玄の世界へ 館林美術館で能楽鑑賞」

9.9、11.5

「館林美術館子どもギャラリートーク」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

11.6 「学芸員を招いて美術授業 館林二中」

11.6 「県立の8施設を12日に無料開放 天皇陛下の即位20周年記念で県」

12.4 「展示予算を集中配分 管理運営の5施設で県 集客高い企画展へ」*

12.16 「館林美術館ミュージアムショップ 展示関連グッズ販売」
〈ちよっと買い物〉

10.11、11.3、12.26、1.12

「館林美術館たび木曜レクチャー「西洋美術史入門」」

〈ぐんまちゃんの掲示板〉

2.20 「聖書と洋画の関連学ぶ 県立館林美術館で講座」*

3.6 「館林美術館美術講座「技法から見る作品鑑賞」」

〈ぐんまちゃんの掲示板〉

3.16 「館林美術館テーマ展示「近現代の彫刻Ⅱ」「油彩その他」」

〈ぐんまちゃんの掲示板〉

3.17 「館林美術館テーマ展示「フランソワ・ボンポン関連資料より一紙、手帳、名刺」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

3.18 「館林美術館館長講座」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

3.30 「県立文化施設 4館長異例の交代」*

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

4.25、5.2、5.10

「記念講演会」

2.27、3.6、3.13、3.20

「館長講座」〈GMAT だより〉

9.26、10.17、10.24、10.31、11.14、2.20、2.27、3.6、3.13、3.20、3.27

「美術講座」〈GMAT だより〉

11.28、12.5、12.19、1.9、12.26

「たび木曜レクチャー「西洋美術史入門」」〈GMAT だより〉

4.25、5.2、5.10、5.23、6.6、6.13、8.1、8.15、8.29、9.26、10.17、10.24、10.31、11.14、11.28、12.5、12.19、12.26、1.9、1.30、2.6、2.20、2.27、3.6、3.13、3.20、3.27

「子どもギャラリートーク」〈GMAT だより〉

12.11、2.15

「子どもギャラリートーク」〈出かけてみませんか 情報BOX〉

2.27 「技法からみる作品鑑賞」〈GMAT だより〉

[定期刊行物]

・美連協ニュース

11月号 「最も印象に残った作品20」〈日本の美術館名品展報告〉

・ぐんま広報

3月号 「館林美術館美術講座「技法から見る作品鑑賞」」〈ぐんまイベント情報〉

・博物館研究

9月号 「群馬県立館林美術館一休館一」〈イベントカレンダー〉

3月号 「群馬県立館林美術館 コレクション展示「油彩その他」 孤高の日本画家大山魯牛ー自然をとらえる独自のまなざし」

「群馬県立館林美術館一休館一」〈イベントカレンダー〉

「美術講座 技法から見る作品鑑賞、館長講座」〈イベントカレンダー〉

・鎔造ジャーナル

3月号 「鐘の上の兎(ハリー・フラナガン＝英国) 群馬県立館林美術館」
〈カバー・ストーリー〉

・渡良瀬通信

4月号 「feature TATEBAYASHI 群馬県立館林美術館」

〈今日は一日、館林を歩く〉

5月号 「イル・コレネット」〈フロムメンバーズ〉

2月号 「遠方からお友達を案内する定番は？」〈星くんのお便りコーナー〉

「一年中、緑の芝生が気持ちのいい美術館」*〈両毛の美術館めぐり〉

3月号 「岸浪百草居『写生(「鹹マルタ／二十三年／四月七日／二子多摩川にて」、サクラ、ツノバキ)』〈美術館の桜たち〉

・TOWNわたらせ

第364号「白鳥が飛来する館林市で自然と芸術に触れる ふたりで過ごす大人のデート」

・ART(MUSEUM) AROUND TOKYO

9月号 「館林ランドスケープ、エスケープ」*〈東京から行くアートな町歩き〉

・Uomo

9月号 「5台のオーディオで行く5つの個性派美術館」

・広報たてばやし

6月15日号

「県有施設バスツアーに参加しませんか」〈情報アラカルト〉

・広報めいわ

6月号 「県有施設見学バスツアーを行います」〈INFORMATION〉

・館林商工会議所ニュース

6月号 「館林美術館学芸員による講座たび木曜レクチャー「西洋美術史入門」」

・raifu

4月号 「県立館林美術館ミュージアムショップ」〈群馬の麗しき文房具〉

近現代の彫刻 I

平成21年4月18日(土)～6月21日(日) 群馬県立館林美術館 展示室 1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm			所蔵
1	フランソワ・ポンボン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6	× 23.0	× 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8	× 23.4	× 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0	× 20.0	× 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2	× 15.8	× 7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0	× 8.7	× 9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7	× 7.9	× 8.2	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1927	ブロンズ	12.0	× 23.5	× 5.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0	× 81.0	× 14.0	群馬県立館林美術館
9	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5	× 32.2	× 30.0	群馬県立館林美術館
10	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8	× 38.6	× 19.2	群馬県立館林美術館
11	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド、 コンクリート・キャスト	79.0	× 110.5	× 158.5	群馬県立館林美術館
12	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0	× 35.0	× 5.0	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4	× 7.4	× 5.7	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8	× 24.0	× 11.3	群馬県立館林美術館
15	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0	× 9.0	× 7.0	群馬県立館林美術館
16	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7	× 5.9	× 7.6	群馬県立館林美術館
17	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6	× 12.0	× 6.5	群馬県立館林美術館
18	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2	× 6.0	× 5.4	群馬県立館林美術館
19	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5	× 104.1	× 62.2	群馬県立館林美術館
20	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0	× 130.0	× 160.0	群馬県立館林美術館
21	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0	× 122.0	× 112.0	群馬県立館林美術館

油彩・南桂子・永井一正

2009年4月18日(土)~6月21日(日)展示室2

[前期 2009年4月18日(土)~5月24日(日)]

[後期 2009年5月26日(土)~6月21日(日)]

油彩

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵	展示期間 前 後 全 期 期 期
1	小杉放庵	秋果童子	1926 年	油彩・カンヴァス	71.4 × 51.5	群馬県立館林美術館	●
2	小糸源太郎	けしの花	1933 年	油彩・カンヴァス	114.4 × 77.2	群馬県立館林美術館	●
3	香月泰男	尾花	1954 年	油彩・カンヴァス	72.8 × 50.0	群馬県立館林美術館	●
4	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955 年	油彩・カンヴァス	53.0 × 65.2	群馬県立館林美術館	●
5	山口薫	水田を拓く	1956 年	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5	群馬県立館林美術館	●
6	南城一夫	フルート奏者	1971 年	油彩・カンヴァス	23.5 × 32.5	群馬県立館林美術館	●
7	森芳雄	母子像	1979 年	油彩・カンヴァス ※No.6は寄託作品	130.0 × 97.5	群馬県立館林美術館	●

南 桂子

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵	展示期間 前 後 全 期 期 期
8	南 桂子	春の野原	1954 年	カラーエッチング・紙	29.6 × 32.6	群馬県立館林美術館	●
9	南 桂子	風景	1954 年	カラーエッチング・紙	39.0 × 28.8	群馬県立館林美術館	●
10	南 桂子	樹木	1954 年	カラーエッチング・紙	39.2 × 29.0	群馬県立館林美術館	●
11	南 桂子	少女	1954 年	カラーエッチング・紙	32.8 × 27.6	群馬県立館林美術館	●
12	南 桂子	猫と少女	1954 年	カラーエッチング・紙	31.8 × 23.6	群馬県立館林美術館	●
13	南 桂子	蝶	1954 年	カラーエッチング・紙	32.4 × 23.5	群馬県立館林美術館	●
14	南 桂子	花カゴ	1955 年	カラーエッチング・紙	29.2 × 34.9	群馬県立館林美術館	●
15	南 桂子	船	1955 年	カラーエッチング・紙	29.1 × 29.0	群馬県立館林美術館	●
16	南 桂子	公園	1956 年	カラーエッチング・紙	29.0 × 29.1	群馬県立館林美術館	●
17	南 桂子	少女	1958 年	カラーエッチング・紙	36.6 × 28.0	群馬県立館林美術館	●
18	南 桂子	てんとう虫	1960 年	カラーエッチング・紙	29.8 × 29.0	群馬県立館林美術館	●
19	南 桂子	網	1961 年	カラーエッチング・紙	34.0 × 28.2	群馬県立館林美術館	●
20	南 桂子	草と鳥	1962 年	カラーエッチング・紙	37.6 × 28.0	群馬県立館林美術館	●
21	南 桂子	子供と花束と犬	1963 年	カラーエッチング・紙	36.0 × 29.0	群馬県立館林美術館	●
22	南 桂子	花と蝶	1963 年	カラーエッチング・紙	34.6 × 28.9	群馬県立館林美術館	●
23	南 桂子	雨の日	1964 年	カラーエッチング・紙	35.0 × 27.3	群馬県立館林美術館	●
24	南 桂子	教会	1964 年	カラーエッチング・紙	36.0 × 28.2	群馬県立館林美術館	●
25	南 桂子	テーブルと2人の少女	1965 年	カラーエッチング・紙	28.2 × 35.8	群馬県立館林美術館	●
26	南 桂子	ロバで散歩	1965 年	カラーエッチング・紙	28.1 × 33.8	群馬県立館林美術館	●
27	南 桂子	2人の少女と花	1967 年	カラーエッチング・紙	33.6 × 29.2	群馬県立館林美術館	●
28	南 桂子	2匹の魚	1967 年	カラーエッチング・紙	33.2 × 28.7	群馬県立館林美術館	●
29	南 桂子	森の中の城	1969 年	カラーエッチング・紙	33.8 × 28.4	群馬県立館林美術館	●
30	南 桂子	少女とゆりの花	1969 年	カラーエッチング・紙	36.0 × 28.2	群馬県立館林美術館	●
31	南 桂子	2人の少女と猫	1969 年	カラーエッチング・紙	31.8 × 28.2	群馬県立館林美術館	●
32	南 桂子	花と蝶	1969 年	カラーエッチング・紙	36.6 × 28.0	群馬県立館林美術館	●
33	南 桂子	花と蝶	1969 年	カラーエッチング・紙	32.2 × 28.4	群馬県立館林美術館	●
34	南 桂子	赤い花と魚	1970 年	カラーエッチング・紙	34.5 × 28.2	群馬県立館林美術館	●
35	南 桂子	庭園にて	1970 年	カラーエッチング・紙	37.8 × 28.4	群馬県立館林美術館	●
36	南 桂子	少女と青い鳥	1971 年	カラーエッチング・紙	34.7 × 28.4	群馬県立館林美術館	●
37	南 桂子	青い木	1972 年	カラーエッチング・紙	34.7 × 28.0	群馬県立館林美術館	●
38	南 桂子	湖畔	1976 年	カラーエッチング・紙	33.5 × 28.0	群馬県立館林美術館	●
39	南 桂子	城と睡蓮	1977 年	カラーエッチング・紙	32.2 × 28.4	群馬県立館林美術館	●
40	南 桂子	シャトーと赤い実	1979 年	カラーエッチング・紙	32.1 × 28.3	群馬県立館林美術館	●
41	南 桂子	かもめ	1980 年	カラーエッチング・紙	35.8 × 28.1	群馬県立館林美術館	●

永井一正

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵	展示期間 前 後 全 期 期 期
42	永井一正	第2回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ1988作品募集(海外向け)	1988 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
43	永井一正	第2回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ1988作品募集	1988 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
44	永井一正	第2回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ1988	1988 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵	展示期間 前後全 期期期
45	永井一正	創立30周年記念 日本デザインセンター作品展	1990 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
46	永井一正	COMMUNICATIONS TOKYO '90	1990 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
47	永井一正	Q-ART FUJI FILM	1990 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
48	永井一正	KAZUMASA NAGAI EXHIBITION (シマウマ)	1991 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
49	永井一正	第3回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ1991作品募集	1991 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
50	永井一正	第3回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ1991作品募集(海外向け)	1991 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
51	永井一正	第3回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ1991	1991 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
52	永井一正	JAGDA平和と環境のポスター展 “I'm here.”	1992 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
53	永井一正	save nature (エイ)	1995 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
54	永井一正	THE LANDMARK TOWER	1995 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
55	永井一正	ZOORASIA	1997 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
56	永井一正	SAVE(サイ)	1998 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
57	永井一正	SAVE(キリン)	1998 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
58	永井一正	SAVE(シマウマ)	1998 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
59	永井一正	第6回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ2000作品募集	2000 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
60	永井一正	第6回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ2000	2000 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
61	永井一正	LIFE(クワガタ)	2003 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
62	永井一正	LIFE(セミ)	2003 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
63	永井一正	LIFE(トリ)	2003 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
64	永井一正	LIFE(トカゲ)	2003 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
65	永井一正	LIFE(少年)	2003 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
66	永井一正	LIFE(ウマ)	2003 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
67	永井一正	LIFE(キリン)	2003 年	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
68	永井一正	第7回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ2003作品募集	2003 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●
69	永井一正	第7回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ2003	2003 年	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館	●



油彩・藤牧義夫の版画

平成21年7月4日(土)～9月23日(水・祝)

[前期:7月4日(土)～8月16日(日)]

[後期:8月18日(火)～9月23日(水・祝)]

藤牧義夫(1911-1935?)の版画

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 cm)	所蔵	会期 前 後 期 期
『新版画』第1号			1932刊			群馬県立館林美術館	
1	武藤六郎	表紙	1932	木版・紙	25.5×18.1		●
2	藤牧義夫	朝(自画像)	1932	木版・紙	12.0×9.7		●
『新版画』第9号(1周年記念号)			1933刊			群馬県立館林美術館	
3	佐伯留守夫	表紙	1933	木版・紙	29.0×22.1		●
4	藤牧義夫	島のぢいさん	1933	木版・紙	14.4×9.4		●
『新版画』第14号			1934刊			群馬県立館林美術館	
5	藤牧義夫	表紙	1934	木版・紙	29.4×21.9		●
6	藤牧義夫	まくら橋	1934	木版・紙	12.2×9.2		●
『新版画』第17号(藤牧義夫特集号)			1935刊			群馬県立館林美術館	
7	藤牧義夫	表紙	1935頃	木版・紙	29.2×22.0		●
8	藤牧義夫	うらまち	1935頃	木版・紙	15.0×12.0		●
9	藤牧義夫	彼岸	1935頃	木版・紙	12.0×15.0		●
10	藤牧義夫	年賀状(昭和5年)	1929	木版・紙	14.2×9.3	群馬県立館林美術館	●
11		しねま	1932	木版、手彩色・紙	15.0×9.0	群馬県立館林美術館	●
12		達磨	1933	木版・紙	18.2×21.3	群馬県立館林美術館寄託	●
13		銀座スッポン料理屋	1933	木版・紙	8.8×13.9	群馬県立館林美術館	●
14		年賀状(昭和9年)	1933	木版、手彩色・紙	13.9×9.1	群馬県立館林美術館	●
15		井の頭風景	1934	木版・紙	14.8×16.9	群馬県立館林美術館寄託	●
16		自画像	1934頃	木版、手彩色・紙	17.8×12.6	群馬県立館林美術館	●
17		城沼の冬	1933	木版・紙	11.2×14.0	群馬県立館林美術館	●

木版画

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 cm)	所蔵	会期 前 後 期 期
18	ラウル・デュフィ	アボリネール『動物詩集、あるいはオルフェウスのお供たち』より ライオン ハツカネズミ ウマ タコ クラゲ 白鳩	1911年刊	木版・紙	20.6×19.2 21.0×19.2 21.0×19.2 20.2×19.4 20.3×19.4 20.3×19.4	群馬県立館林美術館	● ● ● ● ● ●
19	マルク・シャガール	ボエム 1. 表紙 2. 野蛮人として 7. この佳き日 23. 道	1962-67	木版・紙	32.2×24.7 32.2×24.7 32.2×24.7 32.2×24.7	群馬県立館林美術館	● ● ● ●
20	清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.7×18.8	群馬県立館林美術館寄託	●
21		蝶	1963-34	木版・紙	24.6×22.1	群馬県立館林美術館寄託	●
22		九月の海辺	1970	木版・紙	13.3×23.3	群馬県立館林美術館寄託	●
23		窓のカンテラ (暗い夕日6)	1972	木版・紙	24.2×15.0	群馬県立館林美術館寄託	●
24	柄澤斎	樹々の家族 1. 樹々の家族 4. ダンス 5. 芽ぶき 11. あーん 27. たまむし 34. のびゆく影 50. 月日星 51. 待ち合わせ	2002-2003	木版・紙	19.0×22.0 19.0×22.0 19.0×22.0 19.0×22.0 19.0×22.0 19.0×22.0 19.0×22.0 19.0×22.0	群馬県立館林美術館	● ● ● ● ● ● ● ●

油彩

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 cm)	所蔵	会期 前期 後期
25	山口薫	森	1936	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	群馬県立館林美術館	● ●
26	金山平三	婦恋村	1935-45	油彩・カンヴァス	45.5×65.1	群馬県立館林美術館	● ●



近現代の彫刻 II

平成21年10月10日(土)～平成22年4月4日(日) 展示室 1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm			所蔵
1	フランソワ・ポンボン	コゼット	1888年	ブロンズ	41.0	× 18.0	× 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	風見鶏	1908-32年	銅	47.0	× 54.4	× 6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	ほろほろ鳥	1910-12年	ブロンズ	19.8	× 23.4	× 10.7	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918-26年	ブロンズ	9.2	× 15.8	× 7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	雉鳩	1919年	ブロンズ	24.0	× 8.7	× 9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンボン	パン	1923年頃	ブロンズ	26.0	× 29.0	× 12.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923-33年	白色大理石	24.7	× 45.5	× 11.7	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28年	ブロンズ	12.5	× 20.8	× 8.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930-31年	ブロンズ	25.0	× 81.0	× 14.0	群馬県立館林美術館
10	チャーナ・オルロフ	魚／噴水	1929年	ブロンズ	40.7	× 40.5	× 13.3	群馬県立館林美術館
11	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951年頃	スチール・ロッド	79.0	× 110.5	× 158.5	群馬県立館林美術館
12	ジョアン・ミロ	鳥	1970年	ブロンズ	60.7	× 40.7	× 40.7	群馬県立館林美術館
13	土谷武	無題	1972年	軟鋼	105.0	× 75.0	× 160.0	群馬県立館林美術館
14	土谷武	蝶 I	1993年	軟鋼	147.0	× 130.0	× 160.0	群馬県立館林美術館
15	バリー・フラナガン	仔象	1984年	ブロンズ	174.5	× 104.1	× 62.2	群馬県立館林美術館
16	イサム・ノグチ	リス	1984-88年	ブロンズ板	61.0	× 48.0	× 39.0	群馬県立館林美術館
17	フェルナンド・ボテロ	馬	1995年	ブロンズ	50.4	× 38.0	× 26.6	群馬県立館林美術館
18	ジム・ダイン	キング・パロット	1995年	ブロンズ	216.0	× 122.0	× 112.0	群馬県立館林美術館
19	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003年	ブロンズ	188.0	× 191.2	× 20.0	群馬県立館林美術館

油彩・現代美術

平成21年10月10日(土)～11月23日(月・祝) 展示室 4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	アンディ・ウォーホル	花	1970年	シルクスクリーン・紙 (10点組)	各91.5 × 91.5	群馬県立館林美術館
2	アンディ・ウォーホル	危機に瀕した種	1983年	シルクスクリーン・紙 (10点組)	各96.5 × 96.7	群馬県立館林美術館
2-1		アフリカ象				
2-2		白頭ワシ				
2-3		ロッキー羊				
2-4		クロサイ				
2-5		ジャイアントパンダ				
2-6		グレーヴィーシマウマ				
2-7		オランウータン				
2-8		アンダーソンアマガエル				
2-9		サンフランシスコ・シルバースポット				
2-10		シベリアタイガー				
3	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952年	油彩・カンヴァス	90.7 × 72.5	群馬県立館林美術館
4	猪熊弦一郎	猫と魚	1953-54年	油彩・カンヴァス	60.5 × 50.0	群馬県立館林美術館
5	鶴岡政男	涙する人	1968年	油彩・カンヴァス	(上)162.0 × 130.5 (下)162.0 130.3	群馬県立館林美術館
6	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955年	油彩・カンヴァス	53.0 × 65.2	群馬県立館林美術館
7	小林孝亘	Cloud	1999年	油彩・カンヴァス	283.0 × 350.0	群馬県立館林美術館
8	金田実生	夜が少しづつ降りる	2005年	油彩・紙	154.0 × 165.0	群馬県立館林美術館



油彩・その他

平成21年12月12日(土)～平成22年4月4日(日) 展示室4

[前期 2009年12月12日(土)～2010年1月17日(日)]

[中期 2010年1月20日(水)～2月21日(日)]

[後期 2010年2月24日(水)～4月4日(日)]

植物のかたちー自然観察と表現

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×縦×横cm)	所蔵	展示期間		
							前	中	後
							期	期	期
1	小糸源太郎	けしの花	1933年	油彩・カンヴァス	114.4 × 77.2	群馬県立館林美術館	●	●	●
2	ジャン＝ミッシェル・ムーリス	トスカニア1	1990年	アクリル、 パステル・カンヴァス	200.0 × 200.0	群馬県立館林美術館	●	●	●
3	ジャン＝ミッシェル・ムーリス	トスカニア4	1990年	アクリル、 パステル・カンヴァス	200.0 × 62.0	群馬県立館林美術館	●	●	●
4	ホセ・マリア・シシリア	赤い花々I	1998年	油彩、蜜蝋・板	184.5 × 157.0	群馬県立館林美術館	●	●	●
5	伊庭靖子	Untitled	1998年	油彩・カンヴァス	183.0 × 393.0	群馬県立館林美術館	●	●	●
6	西村盛雄	甘露の雨: マナ10	2002年	木	65.0 × 160.0 × 207.0	群馬県立館林美術館	●	●	●
7	山口啓介	花の心臓／被子植物の空 気柱	2003年	顔料、 樹脂・カンヴァス	270.0 × 181.0	群馬県立館林美術館	●	●	●

観察から表現へー線や面のおもしろさ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×縦×横cm)	所蔵	展示期間		
							前	中	後
							期	期	期
8	フランソワ・ボンボン	カイエンスの雌鶏	1906-24年	インク・紙	9.2 × 8.6	群馬県立館林美術館			●
9	フランソワ・ボンボン	羽根をむしられて駆け回る 雄鶏	1910年	インク・紙	15.5 × 14.0	群馬県立館林美術館			●
10	フランソワ・ボンボン	羽根をむしられて駆け回る 雄鶏	1910年	インク・紙	21.5 × 10.0	群馬県立館林美術館			●
11	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1921-24年	無釉硬質磁器	20.4 × 39.4 × 7.3	群馬県立館林美術館			●
12	フランソワ・ボンボン	七面鳥	1925年	インク・紙	13.5 × 13.0	群馬県立館林美術館			●
13	フランソワ・ボンボン	二羽の雌雉		鉛筆、グワッシュ、 インク・紙	27.0 × 45.0	群馬県立館林美術館			●
14	フランソワ・ボンボン	2つの姿勢の雌雉		インク、 グワッシュ・紙	32.4 × 17.0	群馬県立館林美術館			●
15	ジャン・デュビュッフェ	壁	1945-50年	リトグラフ・紙		群馬県立館林美術館			
15-1		II 鳥のいる壁			36.0 × 28.4				●
15-2		III 壁に追いつめられた人			36.0 × 28.3				●
15-3		V 壁の前でダンス			34.7 × 28.7				●
15-4		VIII 壁に立ち小便			35.0 × 28.4				●
15-5		IX 壁と旅人たち			36.6 × 27.8				●
15-6		XIII おいさらばえた壁			35.5 × 25.5				●
16	ベン・ニコルソン	コンポジション1947	1947年	油彩、鉛筆、 コンテ鉛筆・板	45.7 × 45.7	群馬県立館林美術館	●	●	●
17	鶴岡政男	地表	1971年	油彩・カンヴァス	130.6 × 193.7	群馬県立館林美術館	●	●	●
18	ピエール・アレシンス キー	手探りで	1974年	エッチング、 アquarell・和紙	184.8 × 284.5	群馬県立館林美術館			●
19	フランソワ・ラフランカ	カマナ	1993年	エンボス・石	102.0 × 75.0	群馬県立館林美術館	●	●	
20	フランソワ・ラフランカ	スプレイ	1993年	エンボス・石片	22.0 × 20.0	群馬県立館林美術館	●	●	
21	フランソワ・ラフランカ	コルソット	1993年	エンボス・石片	22.0 × 20.0	群馬県立館林美術館	●	●	
22	フランソワ・ラフランカ	アトランティード	1994年	エンボス・石片	40.0 × 45.0	群馬県立館林美術館	●	●	
23	フランソワ・ラフランカ	シェネアンフィ	1995年	エンボス・石片	40.0 × 45.0	群馬県立館林美術館	●	●	
24	フランソワ・ラフランカ	ロヴァーナ・ディ・デントロ	1995年	エンボス・石片	45.0 × 59.0	群馬県立館林美術館	●	●	
25	フランソワ・ラフランカ	ロヴァーナ	1995年	石	12.0 × 42.0 × 30.0	群馬県立館林美術館	●	●	
26	西村陽平	開館記念特別展示『自然と 人間』2001	2002年	焼成された紙 (展覧会カタログ)	4.5 × 28.0 × 19.0	群馬県立館林美術館	●	●	●
27	西村陽平	『ニルス＝ウドー 自然へ』 2002	2002年	焼成された紙 (展覧会カタログ)	9.3 × 15.5 × 13.8	群馬県立館林美術館	●	●	●
28	西村盛雄	無題	2004年	蓮の葉、紙	185.0 × 185.0	群馬県立館林美術館	●		
29	トマス・ビューイック	『四足獣概説』第4版	1800年	書籍、木口木版・ 紙	20.8 × 12.8	群馬県立館林美術館	●	●	●
30	J.J.グランヴィル	『当世風変身譚』	1854年	書籍、木口木版・ 紙	26.0 × 16.0 (4点組)	群馬県立館林美術館	●	●	●
31	ロレンス・ハウスマン	クリスティーナ・ロセッティ 『ゴブリン・マーケット』初版	1893年	書籍、木口木版・ 紙	18.2 × 10.4	群馬県立館林美術館	●	●	●
32	ロレンス・ハウスマン	『妖精の国の農場』初版	1894年	書籍、木口木版・ 紙	19.1 × 12.8	群馬県立館林美術館	●	●	●

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×縦×横cm)	展示期間
						前 中 後 期 期 期
33	鶴岡政男	茶碗	1951年頃	陶器	9.1(高さ) × 11.2(径)	群馬県立館林美術館 ● ● ●

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料（一部複製）を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～絵はがき」

4月18日(土)ー6月21日(日)

展示資料:絵はがき(複製)27点

第2期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～写真」

7月4日(土)ー9月23日(水・祝)

展示資料:写真(複製)19点

第3期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～図書、文献資料」

10月10日(土)～11月23日(月・祝)

展示資料:書籍12冊

第4期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～手紙、手帳、名刺」

12月12日(土)～4月4日(日)

展示資料:手紙(複製)3点、手帳(複製)3冊より抜粋ページ、名刺(複製)8点



F 観覧者一覧表

企画展示(特別展示を含む)

	有料観覧者						無料観覧者						
	個人			団体			有料 合計	小中 生	学校 団体	身体障 害者等	その他	無料 合計	観覧者 合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計							
特別展示 湯浅一郎展 テーマ展示 フランソワ・ポンボン 4/1-4/5 5日	350	6	356	0	0	0	356	56	0	12	304	372	728
館林でつつじの絵をー 世界一のつつじの名 所に全国から名画を迎 えてー 4/18-6/21 56日	2,321	85	2,406	68	116	184	2,590	233	330	183	2,663	3,409	5,999
エコ&アートーアートを 通して地球環境を考え るー近くから遠くへ 7/4-9/23 72日	4,227	372	4,599	163	67	230	4,829	2,653	165	194	6,960	9,972	14,801
生誕100年 館林に生 まれた日本画家・岸浪 百草居展ー南画学習 から写実を経て魚類画 の名手にー 10/10-11/23 39日	1,456	44	1,500	109	48	157	1,657	197	117	111	3,586	4,011	5,668
孤高の日本画家、磯 部草丘・四方田草炎・ 大山魯牛ー自然をとら える独自のまなざしー 12/12-3/31 86日 (展示は平成22年度4 月4日まで継続)	3,088	143	3,231	148	0	148	3,379	222	10	193	2,237	2,662	6,041
企画展示 計 258日	11,442	650	12,092	488	231	719	12,811	3,361	622	693	15,750	20,426	33,237

平成21年度の総観覧者数は、33,237人である。

A 講演会

開催日	名称 演題	講師	会場	参加者数
5.1	企画展示「館林でつつじの絵を」記念講演会 「花と近世絵画」	河野元昭氏(東京大学名誉教授)	講堂	46
11.3	企画展示「生誕120年 館林に生まれた日本画家・岸浪百草居展 記念講演会「岸浪百草居の人と作品」	中田宏明(群馬県立館林美術館主任学芸員)	講堂	49

B 作品解説会・ギャラリートーク

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
4.23	館林でつつじの絵を	松下由里	展示室	15
4.24	館林でつつじの絵を★	伊藤香織	展示室	3
4.28	館林でつつじの絵を	松下由里	展示室	1
5.6	館林でつつじの絵を	松下由里	展示室	20
5.15	館林でつつじの絵を	松下由里	展示室	10
5.23	館林でつつじの絵を	松下由里	展示室	9
6.14	館林でつつじの絵を	松下由里	展示室	27
7.16	エコ&アート	松下和美	展示室	9
7.25	エコ&アート	松下和美	展示室	10
7.29	エコ&アート★	伊藤香織	展示室	3
8.7	エコ&アート	松下和美	展示室	2
8.16	エコ&アート	松下和美	展示室	22
8.19	エコ&アート	松下和美	展示室	1
8.21	エコ&アート★	松下和美、伊藤香織	展示室	2
9.22	エコ&アート	松下和美	展示室	7
10.14	岸浪百草居	中田宏明	展示室	4
10.16	岸浪百草居★	中田宏明、伊藤香織	展示室	4
10.20	岸浪百草居	中田宏明	展示室	2
10.30	岸浪百草居	中田宏明	展示室	2
11.7	岸浪百草居	中田宏明	展示室	20
11.15	岸浪百草居	中田宏明	展示室	25
11.23	岸浪百草居	中田宏明	展示室	20
12.17	孤高の日本画家	染谷滋	展示室	1
1.10	孤高の日本画家	染谷滋	展示室	20
1.15	孤高の日本画家★	染谷滋、伊藤香織	展示室	4
1.20	孤高の日本画家	染谷滋	展示室	12
2.16	孤高の日本画家	染谷滋	展示室	6
2.26	孤高の日本画家	染谷滋	展示室	4
3.13	孤高の日本画家	染谷滋	展示室	2

★印は教職員のための作品解説会

※参加者のあった回のみ記した。

2. 子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
4.18	松下由里	展示室	1
6.6	伊藤香織	展示室	1
7.25	染谷滋	展示室	2
8.8	中田宏明	展示室	2
8.29	松下由里	展示室	1
10.17	松下和美	展示室	1
12.26	伊藤香織	展示室	1
2.13	中田宏明	展示室	2
3.6	松下和美	展示室	4

※参加者のあった回のみ記した。



「館林でつつじの絵を」記念講演会



「岸浪百草居展」記念講演会



「エコ&アート」作品解説会



子どもギャラリートーク

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6.29・30	1. 日比野克彦ワークショップ「DNA PLAIN」	日比野克彦氏 (出品作家・東京藝術大学教授)	展示室	118
7.29	2. 日比野克彦トーク&ワークショップ	日比野克彦氏 (出品作家・東京藝術大学教授)	展示室	103
1.16	3. 日本画鑑賞入門ーものとしての側面から「第1回 素材と描き方からの日本画鑑賞」	上野瑞香氏 (日本画家)	ワークショップ室、	20
3.22	4. 日本画鑑賞入門ーものとしての側面から「第2回 表装と飾り方からの日本画鑑賞」	山崎信雄氏 (表具師)	鷹匠町武家屋敷 武鷹館、山崎表具店	15

1、2. 日比野克彦ワークショップ「DNA PLAIN」

企画展示「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」の開催にあたり、出品作家の中から日比野克彦氏を招いて、ワークショップを開催した。展示室1の床前面にダンボールを敷き詰め、着色したわら半紙の細かい紙片をはりつけていく。日比野氏が館林を訪れた際に感じた、平原のように続く大地のイメージ「PLAIN」を作家とともに表現した。

3、4. 日本画鑑賞入門ーものとしての側面から

特別展示「孤高の日本画家、磯部草丘・四方田草炎・大山魯牛」展の開催にあたり、日本画の鑑賞を「画材や描き方」「飾りかた」など、二つの方向から体験するワークショップを開催した。第1回は、日本画の画面そのものをかたちづくる絵具や紙・描き方を、第2回は、屏風や絵巻、掛軸などの、日本画独特の表装のつくりを体験しながら学んだ。



日比野克彦ワークショップ「DNA PLAIN」



日比野克彦トーク&ワークショップ



日本画鑑賞入門「第1回 素材と描き方からの日本画鑑賞」



日本画鑑賞入門「第2回 表装と飾り方からの日本画鑑賞」

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ

夏の展覧会会期中、毎週木曜日に「創作体験コーナー みんなのアトリエ」を全6回(7月23日ー8月27日)開催した。今年度は、コレクション展示で藤牧義夫の木版画を展示、講堂で地域小学生の木版画を展示することなどから、版画作品鑑賞への理解を深めることを目的に、多版木版画の代表ともいえる浮世絵木版画の実演および摺り体験をおこなった。講師には、沼辺木版画工房(選定保存技術「浮世絵木版画技術」保存団体・浮世絵木版画彫摺技術保存協会会員)の摺師、沼辺伸吉氏を招いた。合計635名が参加した。



みんなのアトリエ

E 美術講座・たてび木曜レクチャー

1. 岸浪百草居展関連講座「南画とは何か？－中国の文人画と日本の南画入門－」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
10.12	第1回「中国の文人画－蘇軾から董其昌まで－」	板倉聖哲氏(東京大学東洋文化研究所准教授)	講堂	19
11.22	第2回「日本の南画－江戸時代の新興美術運動－」	佐藤康宏氏(東京大学大学院教授)	講堂	21

2. 主題から見る作品鑑賞

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.7	ギリシャ・ローマ神話の世界	松下和美(当館副主幹)	講堂	14
2.14	キリスト教の世界	神尾玲子(当館副主幹)	講堂	20
2.21	中国の故事から	中田宏明(当館主任学芸員)	講堂	15
2.28	日本の神話と物語の世界	染谷滋(当館学芸係長)	講堂	18

3. 技法から見る作品鑑賞

開催日	名称	講師	会場	参加者数
3.7	油彩	松下由里(当館主幹)	講堂	24
3.14	日本画	青木忍氏(高崎市タワー美術館学芸員)	講堂	26
3.21	木彫	神尾玲子(当館副主幹)	講堂	13

4. 館長講座

開催日	名称	講師	会場	参加者数
3.28	アメリカで出会った日本人画家たち	木島俊介(当館館長)	講堂	18

5. たてび木曜レクチャー「西洋美術史入門」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.14	ギリシャ、ローマ	神尾玲子	講堂	21
5.21	中世	神尾玲子	講堂	17
5.28	イタリア・ルネサンス	中田宏明	講堂	22
6.4	北方ルネサンス	中田宏明	講堂	21
6.11	バロック	松下和美	講堂	23
6.18	ロココ	中田宏明	講堂	27
10.15	新古典主義	中田宏明	講堂	18
10.22	印象派	伊藤香織	講堂	25
10.29	ポスト印象派	伊藤香織	講堂	14
11.5	アーツ・アンド・クラフツ	松下由里	講堂	18
11.12	アール・ヌーヴォー	松下由里	講堂	21
11.19	アール・デコ	松下和美	講堂	18
1.7	フォーヴィスム	伊藤香織	講堂	9
1.14	キュビズム	伊藤香織	講堂	13
1.21	ダダ、シュルレアリスム	松下和美	講堂	16
1.28	幾何学的抽象	松下由里	講堂	17



美術講座「中国の文人画－蘇軾から董其昌まで－」



美術講座「日本の南画－江戸時代の新興美術運動－」

F アーティスト・トーク

企画展示「エコ&アートーアートを通して地球環境を考えるー近くから遠くへ」会期中に、出品作家による展示作品を前にしてのギャラリートークを行った。

開催日	アーティスト	参加者数
7.4	高谷史郎、國府理	40
8.2	篠原誠司×川島健二(民俗研究家)	36
8.30	平田五郎	11
9.13	サウンドバム代表 川崎義博	17
9.23	石川直樹	65

G 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目指しているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などを行った。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明を行った。

1. 学校との連携事業

(1) 連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
4.22	館林美術館の使い方	関東短大子ども学科	伊藤香織	展示室	15
5.20	「つつじ」展鑑賞	関東短大子ども学科	松下由里、伊藤香織	展示室	15
6.14	博物館実習 施設見学	東京家政大学	神尾玲子	研修室	35
7.4	「エコ&アート」「アーティスト・トーク」見学	中之条中学校 美術部	松下和美	展示室	25
7.24	「エコ&アート」展示室案	板倉町立板倉中学校 美術部	松下由里	展示室	25
7.29	日比野克彦WS	館林市立多々良中学校 美術部	松下和美	展示室	11
7.29	日比野克彦WS	県立西邑楽高等学校 美術部	松下和美	展示室	17
8.6	アトリエ「多版本版画体験」	明和町東部児童館	伊藤香織	ワークショップ室、展示室	40
9.15	「アート・カード」「藤牧義夫紹介」	館林市立第二中学校1年2組	神尾玲子、伊藤香織	館林市立第二中学校	31
10.2	総合学習「ふるさと再発	館林市立第八小学校5年	伊藤香織	ワークショップ室	33
10.21	施設および展示解説・見学	桐生市立広沢小学校5年3クラス	神尾玲子	講堂・展示室	86
10.22	総合学習「さまざまな職業」	県立太田女子高校1年	神尾玲子	ワークショップ室・館内	38
10.23	美術「日本画」	館林市立第二中学校1年2組	伊藤香織	館林市立第二中学校	31
12.25	「孤高の日本画家」展鑑賞	関東短大子ども学科	染谷滋、伊藤香織	展示室	1

(2) 団体解説のみを実施

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.1	概要解説・見学	埼玉県加須市立加須小学校1年	神尾玲子、伊藤香織	展示室	100
5.16	概要解説・見学	桐生大学短大アートデザイン学科	神尾玲子	研修室・展示室	43
5.30	概要解説・見学	県立西邑楽高等学校 美術部	神尾玲子	研修室・展示室	38
6.11	総合的な学習(解説・見学)	館林市立多々良中1年生	伊藤香織	講堂・展示室	167
8.25	概要解説・見学	太田市立城東中学校 美術部	神尾玲子	研修室・展示室	13
10.21	概要解説・見学	足利工業大学建築学科	神尾玲子	講堂・展示室	58
10.21	概要解説・見学	桐生市立広沢小学校5年3クラス	神尾玲子	講堂・展示室	86
12.25	概要解説・見学	桐生市立広沢中学校美術部	神尾玲子	研修室・展示室	11

(3) 主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
4.13	主任会	館林市中学校	伊藤香織	館林市立第三中学校	5
4.20	主任会	邑楽郡小学校	伊藤香織	大泉町立東小学校	20
4.20	主任会	館林市小学校	伊藤香織	館林市立第三小学校	12
5.15	主任会	館林市小学校	神尾玲子	研修室	12

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
6.4	主任会	邑楽町小学校	伊藤香織	研修室	22
8.7	教職員研修	足利市立矢場小学校	神尾玲子	研修室	15
8.19	技術講習会	館林市中学校	神尾玲子、伊藤香織	ワークショップ室	5
8.26	技術講習会	邑楽郡中学校	神尾玲子、伊藤香織	ワークショップ室	8
9.16	主任会	館林市中学校	神尾玲子	館林市立第三中学校	5
9.17	主任会	邑楽郡中学校	伊藤香織	邑楽町立邑楽南中学校	9
10.2	主任会	館林市小学校	伊藤香織	ワークショップ室	13
1.15	主任会	館林市小学校	伊藤香織	研修室	12

2. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	4	1	3	2	0	2	1	0	0	0	1	16
人数	10	157	167	106	50	0	54	32	0	0	0	25	637

3. 鑑賞支援ツールの作成・配布

県立館林美術館と地域の学校との連携を活性化させる事業展開として、当館所蔵作品を活用したアートカード・アートポスター・ワークシートをセットにした鑑賞支援ツールを作成し、東部教育事務所管内の全小中学校に配布することとなった。作成に向けて組織した鑑賞支援ツール仕様検討委員会は、東部教育事務所管内小中学校教頭・教諭17名、県教育委員会指導主事2名、県立近代美術館・県立館林美術館学芸員4名の委員で構成し、計3回の会議で検討した。なお、この事業は、文化庁の支援による平成21年度「美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業」である。

開催日	内容	会場	参加者数
8.17	第1回鑑賞支援ツール仕様検討委員会開催	アートカード用図版の選定。	研修室 18
8.24	第2回鑑賞支援ツール仕様検討委員会開催	アートポスター用図版の選定。	研修室 17
10.20	第3回鑑賞支援ツール仕様検討委員会開催	アートカードの使用方法を持ち寄り協議。	研修室 17

◎群馬県立館林美術館鑑賞支援ツール
専用ポリプロピレン製箱入り
平成21年度3月作成 作成部数 300部

- ・アートカード
寸法:A6(15×10cm) 60種類
印刷:4C×1C(特色)
材質:アートポスト紙240kg
加工:マットPP加工(両面)、化粧断ち、角丸
- ・アートポスター
寸法:A1(84.1×59.4cm) 25種類
印刷:片面4C
材質:ユボFGS95
加工:化粧断ち、折り(A1→A4)
- ・ワークシート
寸法:A4(29.7×21.0cm)
印刷:4C/14種 1C(墨)/12種
材質:ライトスタッフGA-N210kg
加工:化粧断ち、ファイリング用パンチ穴加工、角丸
- ・ガイドブック
寸法:B5横、変形(17.0×24.0cm)
・ワークシートデータCD



H 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第1回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。30日間の全会期中に、合計3,689人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.22－7.26	館林市立第一小学校*、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校	491
第2期	7.29－8.2	館林市立第五小学校、館林市立第六小学校*、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	525
第3期	8.5－8.9	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校、板倉町立南小学校	554
第4期	8.12－8.16	板倉町立北小学校、明和町立明和東小学校*、明和町立明和西小学校、千代田町立東小学校、千代田町立西小学校、大泉町立東小学校	997
第5期	8.19－8.23	大泉町立西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	490
第6期	8.26－8.30	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	632

※校名末尾に*があるものは6学年が参加、他は5学年が参加した。



ポスター



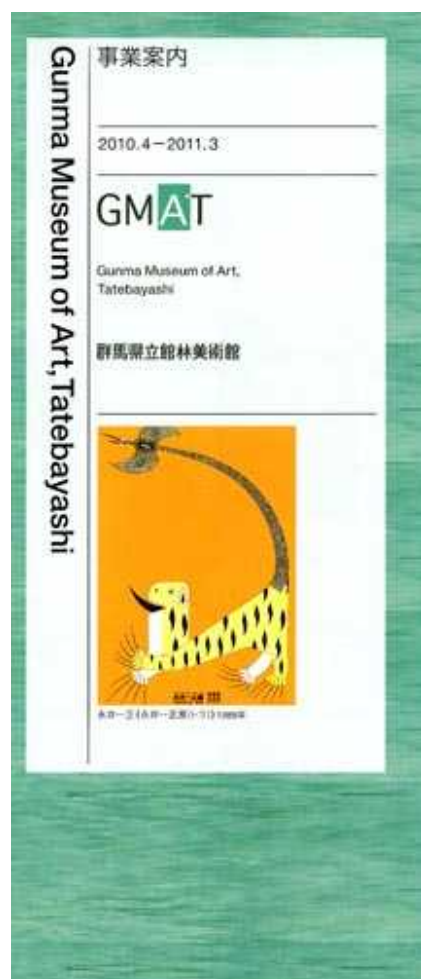
展示会場

◎群馬県立館林美術館平成 22 年度事業案内

B4 判変形 4 つ折り

平成 22 年 3 月発行

発行部数 25,000 部



J ボランティア

夏季の事業、「みんなのアトリエ 多版本版画摺り体験」の開催時に、以下のとおりボランティアを募集した。

期日	名称	人数
7.23-8.27	制作補助ボランティア	30

K 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議

- (1) 総会(7月4日)
- (2) 理事会(7月4日)
- (3) 運営委員会(4回 6月2日、7月22日、10月30日、1月15日)
事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業

- (1) ミュージアム・ショップの運営(平成21年4月～平成22年3月)
展覧会図録、絵はがき、美術関係書籍その他の展示販売をとおり、来館者へのサービスに努めた。
- (2) 研究図書の提供
美術館活動に必要な図書の提供を行った。

3. 会員対象事業

- (1) 美術館情報の提供
会員に対し、展覧会や講座など、美術館事業の広報資料や友の会からのお知らせを随時送付。
- (2) ミュージアムツアーの開催(9月16日)
美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者47名。訪問先:山梨県立美術館、シャトー勝沼ワイナリー
- (3) オータムコンサート(10月16日)
能・狂言の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者130名。出演者:中村裕(能楽師)
- (4) スプリングコンサート(3月5日)
音楽の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者105名。出演者:クラシック・ア・カペラ(Aura)

A 美術作品

1. 作品収蔵状況 平成22年3月31日現在

作家区分 収蔵方法 部門	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
日本画	4	1	5	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	0	18	6	0	6	31
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	22	0	22	289	252	541	45	0	45	608
写真	0	0	0	60	7	67	12	0	12	79
彫刻	5	0	5	4	2	6	125	0	125	136
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	0	4	15
計	53	10	63	378	262	640	200	0	200	911

2. 平成21年度 収蔵作品

平成21年度においては、日本画9点(寄贈)、版画67点を新たに収蔵した。平成10年度に購入した版画雑誌中の版画62点を新たに登録した。以下、区分ごとに日本人作家、外国人作家の順番に分け、前者は50音順、後者はアルファベット順に配列している。

各作品データは、以下の順に記す(版画等は、共通するデータを最初に記す)。

- ・作者名(生没年)
- ・作品名
- ・制作年(日本人作家の場合は元号も付す)
- ・技法・材質(・形状)
- ・寸法(平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、単位はcm、版画作品は原則としてイメージサイズを示す)
- ・サイン、年記、その他の記載事項(版画作品の場合は原則として限定番号を記す)
- ・発表展覧会および受賞記録
- ・受入種別
- ・受入番号

< 日本画 >

横尾森林人(1907～1979)
YOKOO Shinrinjin
館林躑躅公園所見
1937(昭和12)年
紙本彩色・軸
44.0×55.5
左上に款記:「丁丑春王正月11日
翠田生」
左上に白文方印:「深山子」
右下に朱文長方印:「□□多新□」
寄贈
841



< 版画 >

『新版画』第1号
“Shin Hanga” no.1
1932(昭和7)年6月20日刊
13点組(うち1点欠く)
25.8×18.3(ページサイズ)
購入(12点中、平成21年度に11点を
登録)

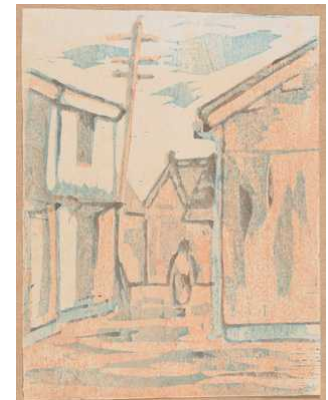
武藤六郎(1907～1995)
MUTOU Rokuro
表紙
木版(多色)・紙
25.8×18.3
842



武藤六郎(1907～1995)
MUTOU Rokuro
街の屋根
木版(単色)・紙
22.1×14.1
843



原田巖岐(1907～?)
HARADA Ganki
風景
木版(多色)・紙
15.9×12.0
844



佐伯留守夫(1912～1986)
SAEKI Rusuo
自画像
木版(単色)・紙
20.9×14.9
845



上田隆
UEDA Takasi
夜汽車
木版(単色)・紙
14.5×22.6
846



大久保一(1911～1991)
OKUBO Hajime
陸橋
木版(単色)・紙
16.4×20.9
847



柴秀夫(1907～1979)
SHIBA Hideo
農婦図
木版(多色)・紙
10.4×9.5
848



武藤完一(1892～1982)
MUTOU Kanichi
漁村小景
木版(単色)・紙
13.4×13.6
849



小野忠重(1909～1990)
ONO Tadasige
工場
木版・紙
14.8×22.4
850



吉原正道(1910～?)
YOSHIHARA Masamichi
裸婦
木版(単色)・紙
26.0×19.0
851



吉田正三(1906～1972)
YOSHIDA Masazo
堀に沿ふ道
木版・紙
23.9×17.1
852

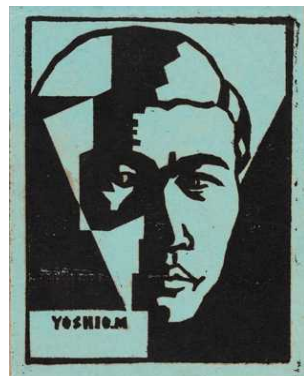


『新版画』第9号
“Shin Hanga” no.9
1933(昭和8)年6月13日刊
33点組
29.0×22.1(ページサイズ)
購入(平成21年に登録)

佐伯留守夫(1912～1986)
SAEKI Rusuo
表紙
木版(多色)・紙
29.0×22.1
853



松下義雄(1908～1993)
MATSUSHITA Yoshio
自画像
木版(単色)・紙
13.2×10.0
854



武藤完一(1892～1982)
MUTO Kanichi
耶馬溪
木版(単色)・紙
7.4×10.2
855



吉田正三 (1906～1972)
YOSHIDA Masazo
ガード
木版(多色)・紙
12.3×16.3
856



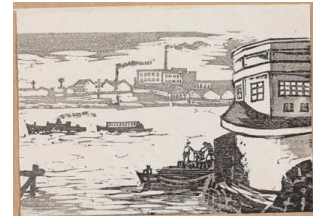
水船六洲 (1912～1980)
MIZUFUNE Rokushu
ツタンカーメン王の義母ネフルチニ像
木版(単色)・紙
14.5×13.8
857



新田穰 (1905～1949)
NITTA Minoru
女習作
木版(単色)・紙
32.1×10.9
858



清水正博 (1915～)
SHIMIZU Masahiro
都会風景No.3
木版(多色)・紙
12.0×18.8
859



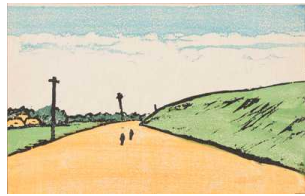
鈴木健夫 (1913～?)
SUZUKI Takeo
下田河口
木版(単色)・紙
15.1×21.6
860



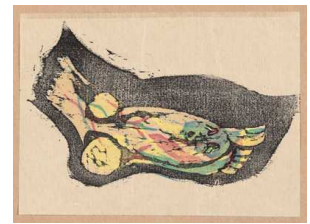
武藤六郎 (1907～1995)
MUTO Rokuro
花売娘と犬
木版(単色)・紙
23.2×20.8
861



蓬田兵衛門(1890～1947)
YOMOGIDA Heiemon
風景
木版(多色)・紙
13.1×20.4
862



柴秀夫(1907～1979)
SHIBA Hideo
足について
木版(多色)・紙
10.8×14.5
863



大久保一(1911～1991)
OKUBO Hajime
相生の壺
木版(多色)・紙
13.8×12.4
864



吉原正道(1910～?)
YOSHIHARA Masamichi
西域の女
木版(単色)・紙
26.0×18.7
865



菊池善二郎(1911～1996)
KIKUCHI Zenjiro
家族
木版(単色)・紙
15.7×22.6
866



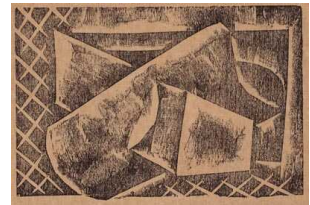
武田由平(1892～1989)
TAKEDA Yoshihei
秋
木版(多色)・紙
14.3×18.7
867



武藤六郎(1907~1995)、
柴秀夫(1907~1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作1
木版機械刷・紙
8.0×8.8
868



武藤六郎(1907~1995)、
柴秀夫(1907~1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作2
木版機械刷・紙
7.8×11.5
869



武藤六郎(1907~1995)、
柴秀夫(1907~1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作3
木版機械刷・紙
8.0×11.8
870



藤牧義夫(1911~1935?)
FUJIMAKI Yoshio
鐵版画編集試作4
木版機械刷・紙
4.2×5.1
871



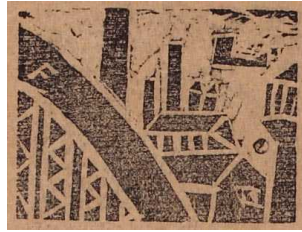
藤牧義夫(1911~1935?)
FUJIMAKI Yoshio
鐵版画編集試作5
木版機械刷・紙
2.9×5.2
872



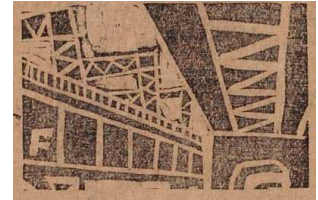
武藤六郎(1907~1995)、
柴秀夫(1907~1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作6
木版機械刷・紙
6.4×8.7
873



藤牧義夫(1911～1935?)
FUJIMAKI Yoshio
鐵版画編集試作7
木版機械刷・紙
3.8×4.8
874



藤牧義夫(1911～1935?)
FUJIMAKI Yoshio
鐵版画編集試作8
木版機械刷・紙
3.6×5.4
875



藤牧義夫(1911～1935?)
FUJIMAKI Yoshio
鐵版画編集試作9
木版機械刷・紙
2.6×5.1
876



藤牧義夫(1911～1935?)
FUJIMAKI Yoshio
鐵版画編集試作10
木版機械刷・紙
4×4.9
877



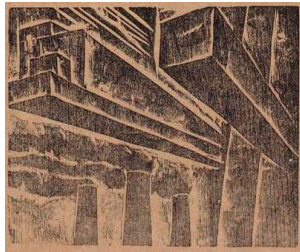
藤牧義夫(1911～1935?)
FUJIMAKI Yoshio
鐵版画編集試作11
木版機械刷・紙
4.3×6.2
879



武藤六郎(1907～1995)、
柴秀夫(1907～1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作12
木版機械刷・紙
5.5×5.0
878



武藤六郎(1907～1995)、
柴秀夫(1907～1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作13
木版機械刷・紙
9.6×11.4
880



小野忠重(1909～1990)
ONO Tadashige
鐵版画編集試作14
木版機械刷・紙
12×15.5
881



小野忠重(1909～1990)
ONO Tadashige
鐵版画編集試作15
木版機械刷・紙
12.9×8.8
882



武藤六郎(1907～1995)、
柴秀夫(1907～1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作16
木版機械刷・紙
5.5×4.8
883



武藤六郎(1907～1995)、
柴秀夫(1907～1979)
児童作品其他
MUTO Rokuro、SHIBA Hideo、
etc.
鐵版画編集試作17
木版機械刷・紙
5.5×4.8
884



『新版画』第14号
“Shin Hanga”no.14
1934(昭和9)年11月1日刊
11点組(うち1点を欠く)
29.4×21.9(ページサイズ)
購入(10点中、平成21年度に9点を
登録)

藤牧義夫(1911～1935?)
FUJIMAKI Yoshio
表紙
木版(単色)・紙
29.4×21.9
885



柴秀夫(1907～1979)
SHIBA Hideo
青い服
木版(多色)・紙
15×13.1
886



吉田正三(1906～1972)
YOSHIDA Masazo
窓外風景
木版(多色)・紙
12.1×16.2
887



鈴木健夫(1913～)
SUZUKI Takeo
山小屋の夜
木版(多色)・紙
12.5×12.0
888



水船六洲(1912～1980)
MIZUFUNE Rokushu
病院の女
木版(多色)・紙
16.5×12.4
889



清水正博(1915～)
SHIMIZU Masahiro
松竹座にて
木版(多色)・紙
16.2×12.0
890



松下義雄(1908～1993)
MATSUSHITA Yoshio
くら
木版(多色)・紙
12.4×11.0
891



武田由平(1892～1989)
TAKEDA Yoshihei
お盆
木版(多色)・紙
14.0×9.2
892



段塚青一(?～?)

凝視
木版(多色)・紙
11.8×8.5
893



『新版画』第17号
“Shin Hanga” no.17
1935(昭和10)年7月1日刊
14点組
29.0×22.0(ページサイズ)
購入(14点中、H21年度に10点を登録)

藤牧義夫(1911～1935?)
FUJIMAKI Yoshio
表紙
木版(単色)・紙
29.0×22.0
894



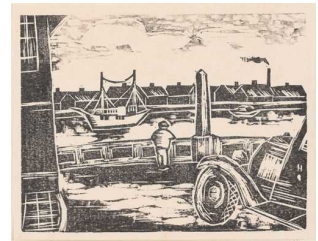
水船六洲(1912～1980)
MIZUFUNE Rokushu
男
木版(多色)・紙
18.2×12.8
895



小野忠重(1909～1990)
ONO Tadashige
二裸婦
木版(単色)・紙
12.1×18.4
896



堀一恵(?～?)
HORI Ikkei?
滞船
木版(単色)・紙
10.6×13.7
897



松下義雄(1908～1993)
MATSUSHITA Yoshio
面
木版(多色)・紙
18.4×[11.5
898



吉田正三(1906～1972)
YOSHIDA Masazo
木場
木版(多色)・紙
14.7×17.2
899



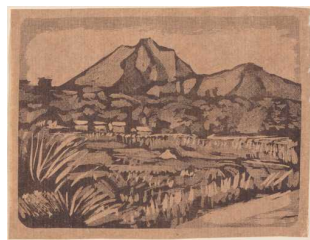
蓬田兵衛門(1890～1947)
YOMOGIDA Heiemon
相州國府村風景
木版(単色)・紙
12.0×16.3
900



宇治山哲平(1910～1986)
UJIYAMA Teppei
カンカン帽子
木版(単色)・紙
13.2×18.7
901



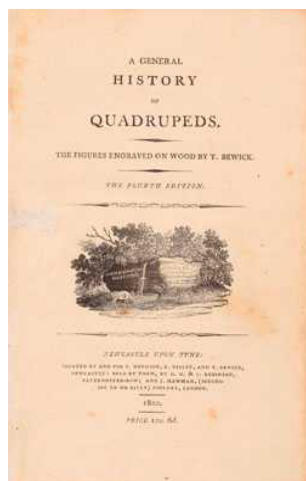
矢田卿二(1910～1986)
YADA Kyoji
瓦山
石版(単色)・紙
11.7×15.5
902



清水正博(1915～)
SHIMIZU Masahiro
山
木版(多色)・紙
16.0×17.5
903



トーマス・ビューイック
(1753～1828)
Thomas BEWICK
四足獣概説
1800年刊(人)
木口木版・紙(書籍)
図版223点、扉絵1点、ヴィネット64
点、
計288点
20.8×12.8(ページサイズ)
購入
834

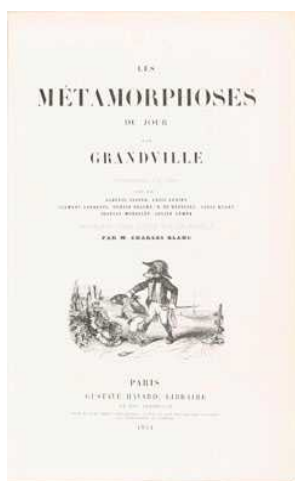


J.-J.・グランヴィル(1803～
1847)
J.-J.・GRANDVILLE
動物たちの公私にわたる生活の
情景
1842年刊
木口木版・紙(書籍)
26.0×16.0(ページサイズ)
I 巻 図94点、章扉3点、ヴィネット
65点、計162点
II 巻 図102点、章扉3点、ヴィネット
56点、計161点
購入
840



※図版はI巻扉絵

J.-J.・グランヴィル(1803～
1847)
J.-J.・GRANDVILLE
当世風変身譚
1854年刊
木口木版、手彩色・紙(書籍)
26.0×16.0(ページサイズ)
図版70点、扉絵、計71点
購入
835



※図版は扉絵

ローレンス・ハウスマン
(1865～1959)
Lawrence HOUSMAN
クリスティーナ・ロセッティ『ゴブリ
ン・マーケット』
1893年刊
木口木版・紙(書籍)
18.2×10.4(ページサイズ)
扉絵1点、図8点、頁装飾34点
購入
836



ローレンス・ハウスマン
(1865～1959)
Lawrence HOUSMAN
妖精の国の農場
1894年(初版)
木口木版・紙(書籍)
19.1×12.8(ページサイズ)
扉絵1点、図12点、計13点
購入
837



※図版は扉絵

ジョージ・ロッディジズ
(1786～1846)
George LODDIGES
ロッディジズ父子『ボタニカル・
キャビネット』より抜粋
1817～1833年
エングレーヴィング、部分的に手
彩色・紙(書籍)
16.6×10.1
全100点
購入
838



※図版は《Erythrina herbacca》
838-1

エドウィン・ダルトン・スミス
(1800～1866以降)
Edwin Dalton SMITH
ベンジャミン・モーン『ボタニッ
ク・ガーデン』第2巻
1827～1828年刊行
エングレーヴィング、手彩色・紙
(書籍)
19.3×15.7(ページサイズ)
24点組
購入
839



3. 平成21年度 寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法		
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162	×	123
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162	×	123
伊庭靖子	Untitled	2001	油彩・カンヴァス	180	×	180
伊庭靖子	Untitled	2003	油彩・カンヴァス	120	×	160
藤牧義夫	関連資料 全21点					
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.7	×	18.8
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.3	×	16.3
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2	×	14.2
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.1	×	21.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.3	×	23.3
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	16.6	×	22.0
清宮質文	暗い夕日(暗い夕日1)	1972	木版・紙	21.0	×	19.2
清宮質文	冬(暗い夕日2)	1972	木版・紙	23.0	×	21.8
清宮質文	トンネルの出口(暗い夕日3)	1972	木版・紙	23.4	×	20.1
清宮質文	虜囚の窓(暗い夕日4)	1972	木版・紙	24.3	×	20.0
清宮質文	夕方の静物(暗い夕日5)	1972	木版・紙	23.0	×	21.9
清宮質文	窓のカンテラ(暗い夕日6)	1972	木版・紙	24.2	×	15.0
清宮質文	入日(暗い夕日7)	1972	木版・紙	16.2	×	25.8
清宮質文	町外れ(暗い夕日8)	1972	木版・紙	16.6	×	22.0
清宮質文	夕日の静物(暗い夕日9)	1972	木版・紙	13.7	×	22.2
清宮質文	壇の中の魚(暗い夕日10)	1972	木版・紙	20.0	×	22.6
清宮質文	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	18.0	×	15.2
清宮質文	星占い ～去りゆく凶星～	1975	木版・紙	15.2	×	18.0
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.2	×	14.1
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	10.0	×	16.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5	×	14.0
清宮質文	われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.2	×	13.0
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.5	×	6.8
清宮質文	タベの道	1983	水彩・紙	17.4	×	25.4
清宮質文	古い暦	1983	モノタイプ・紙	18.5	×	14.1
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	20.8	×	16.2
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	19.3	×	11.2
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	21.6	×	16.2
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.8	×	16.0
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	17.5	×	16.9
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8	×	7.0
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	16.8	×	27.2
清宮質文	緑の太陽	1988	水彩・紙	16.8	×	29.2
清宮質文	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.2	×	16.2
清宮質文	未完(絶筆)	1991	ガラス絵	13.0	×	16.6
清宮質文	歳月		水彩・紙			
清宮質文	失題	1970	木版画	18.9	×	25.9
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.6	×	22.1
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・浜田知明	駒井哲郎のオマージュ	1982	エッチング他	43.6	×	34.6
南城一夫	フルート奏者	1971	油彩・カンヴァス	23.5	×	32.5
西村盛夫	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0	×	220.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0	×	33.0
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0	×	184.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0	×	65.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5	×	62.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5	×	64.5
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0	×	53.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0	×	49.0
和南城孝志	Archetypus 円のイメージ	1981	大理石	12.0	×	35.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1983	ブロンズ	20.0	×	50.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1979	ブロンズ	10.0	×	30.0
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0	×	181.0

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
日高理恵子	空との距離Ⅲ	茨城県近代美術館	眼をとじてー“見ること”の現在	茨城県近代美術館 10.31ー12.13
酒井山良	梨畑	滋賀県立近代美術館、 栃木県立美術館	ー日本画創造の苦悩と歓喜ー大 正期、再興院展の輝き	滋賀県立近代美術 館 9.12-10.25 栃木県立美術館 11.1-12.13

4-2. 館蔵品移動状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	
パブロ・ピカソ	ビュフォン『博物誌』 より13点 No.1 馬 2 ロバ 4 雄牛 5 雄羊 6 猫 7 犬 12 猿 14 ハゲタカ 16 ダチョウ 18 雄鶏 20 鳩 25 伊勢エビ 29 ヒキガエル 『闘牛技』より12点 田園の牡牛たち 闘牛場へ クアドリーリヤの入場行進 ドン・タンクレドの呼び込み カパで牡牛をさそう 長槍での跳躍 ピカドールが槍で牡牛に立ち向かう 椅子に座ってバンデリリヤへ牡牛をさそう ムレータの技 牡牛が角で闘牛士を引っかける とどめの突き 牡牛の死	群馬県立近代美術館	ピカソの版画	群馬県立近代美術 館 5.26ー7.5

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング

B 図書資料その他

平成21年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	160	108	18	0	0	0	286
寄贈	114	256	840	78	122	4	1,414
計	274	364	858	78	122	4	1,700

関係者および職員名簿

(平成 22 年 3 月 1 日現在)
群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
雪山行二	和歌山県立近代美術館館長
水沢勉	神奈川県立近代美術館副館長
横山勝彦	長野県立信濃美術館・東山魁夷館副館長
古田亮	東京藝術大学大学美術館准教授

職員名簿

(平成 21 年 4 月 1 日～22 年 3 月 31 日)

館長	木島俊介
副館長	三牧文雄
次長	井上 剛
(教育普及係長)	
次長	染谷 滋
(学芸係長)	

<教育普及係>

主幹	小林かおる
副主幹	神尾玲子
主任	古屋達夫
主任	伊藤佳之
主任	伊藤香織
教育普及員	紅屋浩子
	齋藤久美子
	福田香織
	最上雅世
	戸谷育恵

<学芸係>

主幹	松下由里
副主幹	松下和美
主任	中田宏明
学芸員(兼)	中島幸子(群馬県立近代美術館主幹)
学芸員(兼)	谷内克聡(群馬県立近代美術館主幹)
学芸員(兼)	定松晶子(群馬県立近代美術館副主幹)
学芸員(兼)	熊谷ゆう子(群馬県立近代美術館主任)
学芸員(兼)	佐藤聖子(群馬県立近代美術館主任)
学芸員(兼)	田中龍也(群馬県立近代美術館主任)
学芸員(兼)	門田今日子(群馬県立近代美術館主任)
資料整理員	伊羅子典代